※入札公告を必ず確認してください。（海老名市ホームページに掲載しています）

入札案件概要書（工事）

契約番号：8172

件　名	市道 364 号線上下水道整備工事	
履行場所	海老名市　河原口　地内	
工　期	令和 8 年 12 月 22 日～令和 9 年 5 月 31 日（161 日）	
工事の内容等	別紙　仕様書等　のとおり 〇複数年契約〇入札は期間全体の税抜金額 〇各年度の支払限度額は落札決定後に示します 〇週休2日制確保工事（現場閉所）の対象案件	
予定価格	11,847,000 円（税込）	10,770,000 円（税抜）
最低制限価格	有り（事前算定型） **※本案件は、スクラップ費を一般管理費に含めて最低制限価格を算出しています。** 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	090　管 経審　－　点以上　－　点未満	**〇下請契約の請負代金の合計の額が５千万円（建築一式工事の場合は８千万円）以上となる場合には特定建設業の許可が必要です。 併せて、主任技術者に代えて監理技術者を配置すること。**
	発注区分 詳細は入札公告で確認してください。	**第　1　区分**	第１・第２区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していること。　※法令に基づき社会保険適用を除外されている場合を除く 〇神奈川県営水道の指定給水装置工事事業者として登録があること	
	落札件数制限	あり　（第１区分及び第２区分の同日開札の工事で、基本数 1 件まで） 詳細は入札説明書等を参照してください。	
配置技術者等の兼任について		本案件に配置する主任（監理）技術者及び現場代理人は、工事・コンサル・一般委託の区分を問わず同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時に次のファイルを添付してください。 **ファイルは一つにまとめてください。** 〇告示日現在で社会保険（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）に加入していることを証する書類の写し。（次の（1）～（3）のいずれか） （1）経営規模等評価結果通知書・総合評定値通知書（経営事項審査）の写し ※経営事項審査の有効期限内の通知書を提出していれば提出不要 （2）（同通知書発行後に社会保険に加入した場合）健康保険、厚生年金保険及び労働（雇用）保険料の領収書の写し （3）（法令に基づき社会保険適用を除外されている場合）健康保険、厚生年金保険及び雇用保険の加入義務がないことの届出書	
入札時提出 （システム添付）		**〇入札金額積算内訳書** 別添のエクセルファイル「入札金額積算内訳書（工事入札時システム添付）」をダウンロードして使用してください。システムへはPDF化して添付してください。	

落札候補者が 提出する書類 （FAX046-232-6574）	開札後、落札候補者は次の書類をＦＡＸで提出してください。 （落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。） 〇配置技術者等に関する書類 〇建設業許可の確認できる書類

案　内　図

工事件名　　：　市道364号線上下水道整備工事
工事場所　　：　海老名市　河原口　地内



工 事 説 明 書
（ 特 記 仕 様 書 ）

工事件名：市道 364 号線上下水道整備工事
工事場所：　海老名市　　河原口　地内

１．工事目的

○市民ニーズに対応したスポーツ施設の充実を図り、多様性のあるレクリエーション空間を創出するためのスポーツ・レクリエーション拠点の整備を行う。

２．工事概要

○整備内容：以下のとおり

・管きょ工　・マンホール工　・人孔鉄蓋交換工　・取付管及びます工
・付帯工　・仮設工　・土工　・給水取出工　・埋戻工　・仮設工

３．仕様（施工管理）

○**海老名市土木工事共通仕様書及び土木工事施工管理基準**に基づき舗装工･側溝工については以下の試験・立ち合いを行うこととする。試験は各工種の施工数量により対応すること。

・アスファルト舗装工、アスファルト安定処理工

現場密度の測定・コア抜き　（1000 ㎡未満 3 個 別途 1000 ㎡毎に 1 個追加）

・表層・基層

コア抜き

密度測定　　（300 ㎡以上３個実施）

・上下層路盤

現場密度測定　（300 ㎡以上３個実施）

ﾌﾟﾙﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ　（段階確認項目）

・透水性舗装

現場透水性試験　（10 箇所実施）

・側溝工の高さ管理立ち合い　(各測点を舗装する前に標高で確認)

○　上記の試験については海老名市土木工事施工管理基準により､300 ㎡未満は小規模により省略することもできる。

ただし、監督員が必要と認める場合は施工計画段階の協議により決定する。測定基準において、施工延長 L=40.0m とあるものは、L=20.0m とし、L=20.0m 未満については、2 箇所とすること。

○型枠材料については、熱帯雨林材の使用を避けること。
○海老名市公共工事デジタル写真管理要領に基づき工事写真を作成し、提出することとするが、詳細については、監督員と協議し、決定する。
○道路計画高等、必要段階に於いては、監督員に立会いを求め、承認の上、施工を推進すること。

○再生砂(RC-10)を使用する際、六価クロムについて、平成３年８月 23 日付環境庁告示第 46 号に規定されている測定方法に基づき、予め土壌汚染に係る環境基準に適合することを確認し、以下の項目について、実施すること。
①各工事で１購入先当たり１検体の試験を行うこととする。
②この試験については、製造者側が、工事請負業者（現場代理人等）の立会いのもと、採取した資料により品質管理の一環として自らの費用を持って行うこととする。
③工事請負業者は、再生砂を使用する場合、製造者側から試験結果報告書を入手し、六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。
○上記以外の内容については、監督員と協議し、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。
○出来高管理及び品質管理基準の規格については、監督員と協議し決定するものする。

４．工程管理

○契約工期
令和８年 12 月 22 日　～　令和９年５月 31 日
○詳細な工程については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

５．安全対策

○道路使用許可条件（交通管理、施工時間等）を遵守すること。
尚、やむを得ず施工時間が許可範囲を超えてしまう場合、監督員に連絡するとともに、交通管理者（所轄警察署）に連絡をすること。
○工事区域の安全対策を十分に施し、道路管理者、道路利用者及び現場作業員等の安全を確保すること。
○特に作業を行わない時は第三者が工事区域内に入り込まないよう、安全対策（安全柵・チューブライト等により）を十分に行うこと。
尚、特に夜間の安全管理については、留意すること。
○工事実施期間中に現場を開放する場合（工事実施時間帯以外）には、現況道路高と計画道路高に段差が生じないよう、必ず安全対策（看板設置・段差擦り付け・通行止め等）を講ずること。
○風雨が強い場合、工事現場の見周りを行い、工事看板、仮囲い、仮設電力、重機等に破損、転倒等が無いか確認し、監督員に状況を報告すること。
又、気象情報で注意報及び警報が発令された場合においては、特に留意すること。
○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

６．仮設備関係

○仮設備（現場事務所等）の建設については、位置・規模等について監督員の承諾を得ること。
○工事用電力、用排水、水道、仮設駐車場、現場事務所に係る建設費用等は、請負業者の負担とする。
○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承諾を得ること。

７．道路関係

○一般道路を工事用資器材等の搬入に使用するので、搬入経路・使用期間等を明確にすること。
○当該工事車両については、速やかに工事ヤード内に誘導し、道路上で工事車両が待機し、一般車及び公共交通車両の通行を妨げないようにする。
○一般道路を使用するときは、関係法令を遵守し、道路管理者、交通管理者等の許可を得ること。尚、大型車両を使用する場合、規定の路線を利用し、十分に速度を落とし、

安全に留意して走行すること。
○施工段階で、周辺道路の通行止めを行う場合、所轄警察署の許可を得ることは基より、通行止めの予告・案内看板等により、車両及び人を安全に誘導すること。尚、看板設置位置等については、監督員と協議し、承諾を得ること。
○一般道路を通行止めとする場合、その期間が極力短くなるよう創意工夫した提案を監督員に行うこと。
○夜間にて、資材等の搬入を行う場合に於いても、十分留意すること。
○資機材の搬入路については、新設道路であるため監督員と協議を行い決定すること。
○詳細については、施工計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

８．建設副産物関係

○建設副産物の処分は、**建設リサイクル法等を遵守し**、再生工場に搬入すること。
※尚、本工事は、建設リサイクル法適用工事です。
○詳細については、施行計画書に明記し、監督員の承認を得ること。

９．海老名環境マネジメントシステム関係

○本工事は、海老名環境マネジメントシステムの公共工事環境配慮マニュアル適用工事であり、下表の事項に留意し施工すること。

適用工事件名	**市道 364 号線上下水道整備工事**
作　業	配　　慮　　事　　項
掘　削	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
排出土処理	排出土中に他の廃棄物が混入しないように分別する。
埋戻し(盛土)	現場内排出土及び再生砕石を使用する。
アスファルト取壊し	取り壊したものは必ず再生プラントへ搬入する。(マニフェスト管理)
	周辺住民の生活環境への影響を考慮し、騒音・振動の発生を最小限に抑える。
構造物	基礎材は、再生砕石を使用する。
路盤工	路盤材は再生材（RM-40・RC-40・RC-10）を使用する。
舗装工（車道及び歩道）	舗装材には一部を除き、リサイクル材を採用する。
工事作業機械車両運行	低騒音・低振動型作業機械を使用する。
	排ガス規制に適合した作業機械・車両(ディーゼルエンジン)を使用する。
	周辺住民の生活を妨げないように作業時間帯を設定する。
	工事用作業機械・車両の待機中はアイドリングをしない。

１０．その他工事全般

○工事に際し、現場代理人及び主任技術者は設計図書を熟知し、現場代理人に於いて、作業中現場に常駐すること。
又、現場代理人は、施工計画書を作成し、事前に監督員の承諾を得ること。
尚、本工事の内容に応じた安全訓練等の具体な計画も作成し、明記すること。
○事前調査は十分に行い、不明確な部分については打合せ簿により施工前に監督員と協議し、確認を得ること。
尚、工事打合せ簿においては、指定の書式を使用すること。
（海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照）
○工事に際し、事前に関係者へ十分な周知を図るとともに、民地内に立ち入る場合は、了解を得てから実施すること。

○基準点、測量点及び境界点は、工事着手前に点検し、保存の必要があれば確保し、関係者より復元等を求められた場合は、早急に復元すること。
○騒音、振動及び粉塵等により駅利用者に対し不利益になりうる事は、工事期間・時間及び施工方法等を十分配慮し、施工に当たること。
○掘削位置直近の構造物（ブロック塀等）は、施工前に状態を確認し、必要であれば、地権者に立会いを求め、記録し、監督員に報告すること。
○工事現場から発生する不要物等が、工事エリア外に飛散、流出等しないよう必要な処置を講じること。
○請負業者(下請業者含)は、関連法令の遵守の上、公共事業という認識を常に持ち責務を果たすこと。
○道路占用物件(ライフライン等)の移設及び撤去が生ずる場合、関係機関との調整を十分行い、監督職員に報告し、工事を円滑に履行すること。

○設計図書及び工事説明書(特記仕様書)に記載されていない事項については、監督職員と協議の上、履行すること。
○本説明書(特記仕様書)の他に、**『海老名市公共工事共通事項書』**も併せて熟読し、本件の施工にあたること。
○工事提出書類については十分把握し、適正に作成すること。
（海老名市ホームページ内 『工事提出書類様式集』 参照）
○本工事は、**『下水道工事』**で積算しています。
○その他の条件等については、別途**『施工条件明示書』**を参照すること。
○本仕様書に定めの無い事項については、その都度、監督員と請負者で協議を行い、決定していくこと。
○周辺工事が競合するため適宜協議対応すること
○工事の前に現場確認を実施し設計図書との整合を確認し着手前に協議すること
○現場着手は、関係機関の許可後となります。
○各種申請等は、元受け業者が実施するものとし資格者等が必要な申請については有資格者が実施すること。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

（趣旨）

第１条　この特記仕様書は、海老名市土木工事共通仕様書等に定めるもののほか、舗装版切断時に発生する濁水の処理に関し必要な事項を定めるものとする。

（適用）

第２条　海老名市が発注する工事で、舗装版の切断作業に適用する。

（処理方法）

第３条　舗装版切断作業時に発生した濁水については、産業廃棄物の汚泥として処理すること。

（条件）

第４条　受注者は、産業廃棄物の汚泥の処分業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

２　　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と委託契約を締結しなければならないものとする。

（提出書類等）

第５条　受注者は、施工計画書に舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処分に関する計画書、受注者と処分業者とで締結した委託契約書の写し及び処分業者の許可証の写しを添付すること。また、受注者が濁水の収集運搬を委託した場合は、受注者と収集運搬業者とで締結した委託契約書の写し及び収集運搬業者の許可証の写しを添付すること。

２　　受注者は、産業廃棄物管理票（紙マニフェスト）又は電子マニフェストにより、適正に処理されていることを確かめるとともに、監督員に提示しなければならない。

（その他）

第６条　この特記仕様書に疑義が生じた場合は、別途監督員と協議するものとする。

施工条件明示書（土木工事共通）

１　工事概要

発　注　者	海老名市	
工事件名	市道364号線上下水道整備工事	
工事場所	海老名市　　河原口　　地内	
工事目的	市民ニーズに対応したスポーツ施設の充実を図り、多様性のあるレクリエーション空間を創出するためのスポーツ・レクリエーション拠点の整備を行う。	
工事概要	・管きょ工　・マンホール工　・人孔鉄蓋交換工　・取付管及びます工 ・付帯工　・仮設工　・土工　・給水取出工　・埋戻工　・仮設工	
契約工期	令和8年度12月22日　　から　　令和9年5月31日　まで	
事業区分	□　補助金事業	□　国庫
		□　県費
	■　市単独事業	
設計区分	■　単独積算	
	□　合算積算	工事
		工事

２　積算諸条件

主たる工種　：　下水道工事（２）
施工地域・工事場所区分　：　一般交通影響有り（２）
契約保証の方法　：　発注者が金銭的保証を必要とする
施工パッケージの使用（一部使用含む）　：　■　有　　□　無
週休二日制確保工事　：　現場閉所による週休２日制確保工事

【使用歩掛及び単価等】

■　土木工事標準積算基準書	適用年版：令和	8 年	7 月
■　諸経費率	適用年版：令和	8 年	7 月
■　下水道用設計標準歩掛表	適用年版：令和	8 年版	
■　土木工事資材等単価表	適用年版：令和	8 年	10 月
■　刊行物	適用年版：令和	8 年	10 月
■　特別調査	適用年版：令和	8 年	4 月
■　海老名市見積単価等	適用年版：令和	8 年度	
□　その他（　　）	適用年版：令和	年	月

３　施工条件

【１】 工程関係	１	他工事による当工事の着手、完了時期の制約について	□　無　（他工事件名等） 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」整備工事（第二工区）（その１） 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」整備工事（第二工区）（その２） 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区） ■　有 （工期、内容等）
	２	当工事における施工時期の制約について	□　無　（制約を受ける施工内容等） ■　有　（施工時期等） 関係機関の許可後に工事着手
	３	施工時間について	■　昼間施工　（その他特記事項） □　夜間施工（一部含む）
	４	官公庁ほか関係機関との調整、協議について	□　無　（関係機関名） ■　有　神奈川県厚木土木事務所、道路管理者、東京電力、NTT
	５	工事着手前に地上物件（家屋調査）、地下埋設物、埋蔵文化財の事前事後調査、又は、移設等の制約について	■　無　（対象内容） □　有
	※ただし、施工上必要となる地下埋設物調査については、施工計画書に明示し、必要な措置を講じること。また、書面により報告すること。		
	６	設計工程上見込んでいる休日日数等作業不能日数について	□　無　（詳細内容、作業不能日数等） ■　有　（年末年始休暇・日曜日） 年末年始６日
【２】 用地関係	１	工事用地等の未処理部分について（用地買収状況について）	■　無　（用地未取得部分等） □　有　（取得予定年月日等）
	２	工事用仮設道路、資材置場等の用地の借用について	■　無　（使用場所、期間、借用条件、復旧方法等） □　有
	３	使用後の復旧条件	■　無　（復旧内容等） □　有
【３】 公害関係	１	公害防止のため、施工方法、建設機械、作業時間等の制限について	□　無　（建設機械と制限内容） 騒音規制法、振動規制法による ■　有　（作業時間と制限内容） 騒音規制法、振動規制法による
	２	水替期等の処理で特別な対策等の必要性について	■　無　（対策内容） □　有

【４】 安全対策関係	1	安全施設等の指定について（有毒ガス及び酸素欠乏等の対策として換気設備の設置等の含む）	■ 無（指定内容） □ 有
	2	鉄道、ガス、電気等の施設と近接する工事の施工方法、作業時間の制限	□ 無（対象内容） ■ 有 □鉄道 □ガス ■電気 □電話 ■上水道 ■下水道 □その他（ ）
	3	交通誘導警備員の配置について	□ 無（１）交通誘導員の配置 工事内容ごとに必要人員を配置（交代要員あり） ■ 有 （２）配置期間、作業時配慮する
【５】 工事用道路関係	1	一般道路を搬入路として使用する場合の制約について	■ 無（搬入経路・使用期間等の制限） □ 有 （搬入中・後の処置）
	2	仮設道路を設置する場合の制約について	■ 無（仮設道路に関する安全施設） □ 有 （工事後の措置、維持補修内容）
【６】 建設副産物関係	1	建設発生土が発生する場合について	□ 無（建設発生土の処分先） ■ 有 名称：愛川町田代受入地 住所：愛川町田代字舘山1853-1番地外 業者：株式会社 織戸組 電話：046-281-1012
	2	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合について	□ 無（対象内容） ■ 有 ☑コンクリート塊 ☑アスファルト・コンクリート塊 □建設発生木材 □建設発生木材（伐木・除根材） ☑建設汚泥 □建設混合廃棄物 ☑金属くず □その他（ ） **※建設廃材指定登録工場に限る。工場側の指示を遵守すること**
	※この工事が「資源の有効な利用の促進に関する法律（平成３年法律第48号）」の規定より再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。		
【７】 工事支障物件	1	工事支障物件について（地下埋設物含む）	□ 無（対象内容） ■ 有 ☑電柱 ☑上水道 ☑下水道 ☑電話 □ガス管 ☑架空電線 □標識・看板 □その他（ ）

【８】 薬液注入関係	１	薬液注入について	□ 無（対象内容） 工法区分： 使用材料： □ 有 施工範囲、削孔数： 注入量： 施工管理基準等：
【９】 その他	１	工事現場発生品がある場合について	■ 無（品名、数量等） □ 有
	２	支給材料及び貸与品がある場合について	■ 無（品名、数量等） □ 有
	３	特殊・特定使用材料を使用する場合及び資材搬入等に制限がある場合について	■ 無（品名、数量、搬入制限等） □ 有
	４	発生売却品評価額（スクラップ等）を計上している場合について	□ 無（品名等） ■ 有 人孔鉄蓋　0.092ｔ
	５	週休２日制度確保工事試行要領を適用している場合について	■ 現場閉所による週休２日制確保工事 □ 交代制による週休２日制確保工事 □ 対象外
	６	関係機関協議	□ 無 ■ 有 関係機関の許可後に現場着手となります。
	７	周辺工事との競合	□ 無 ■ 有 周辺工事と競合するため、適宜監督員と工程や施工方法について協議すること
	８	現場完成の時期	□ 無 ■ 有 河原口高水敷「（仮称）スポーツ・コミュニティ広場」管理棟新築工事（第三工区）

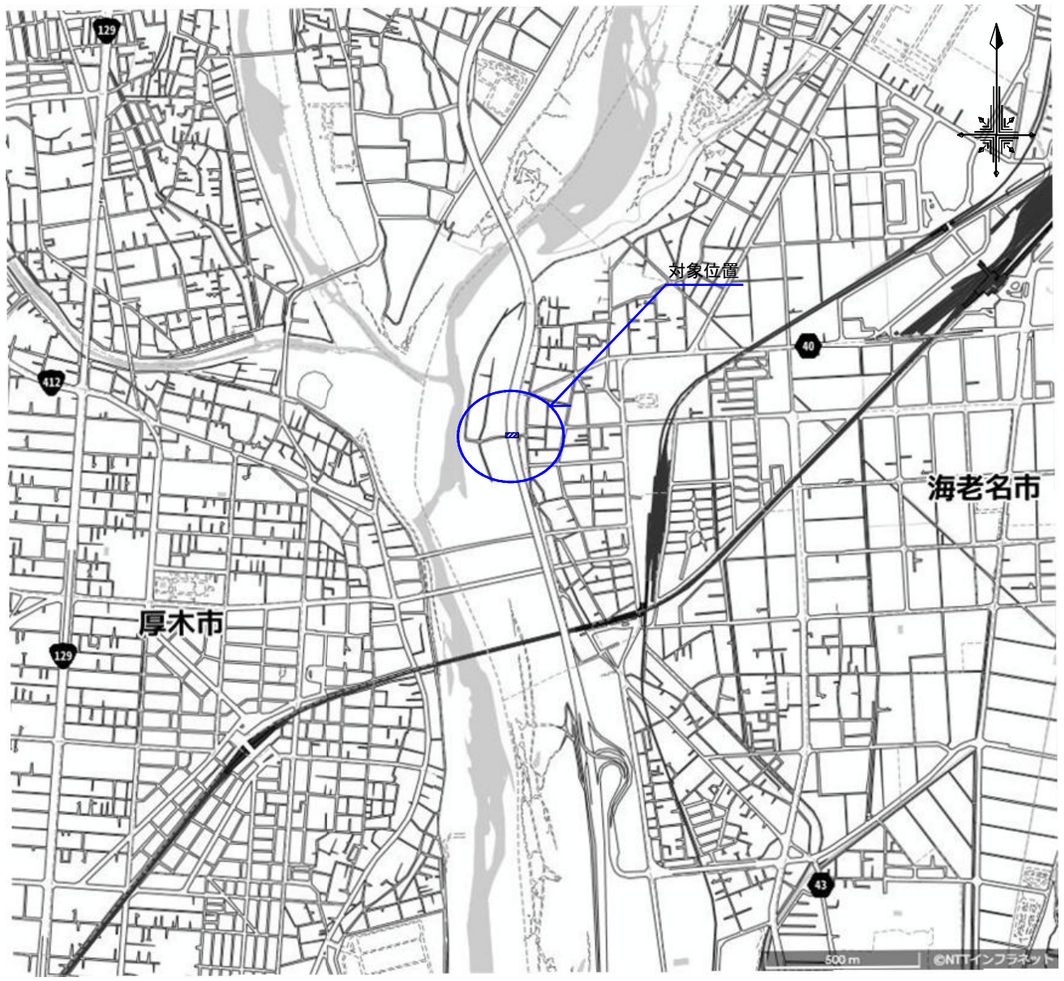
※明示されない施工条件、明示事項が不明確な場合は、契約書等の関連する条項に基づき甲・乙協議により決定すること。

図面目録

図面番号	図　面　名　称		備　　考
	案内図・図面目録		
1	全体計画図		
2	0号組立マンホール標準構造図		
3	1号組立マンホール標準構造図		
4	取付管・土工標準図		
5	給水設備構造図		
6	アルミ矢板土留工標準図		

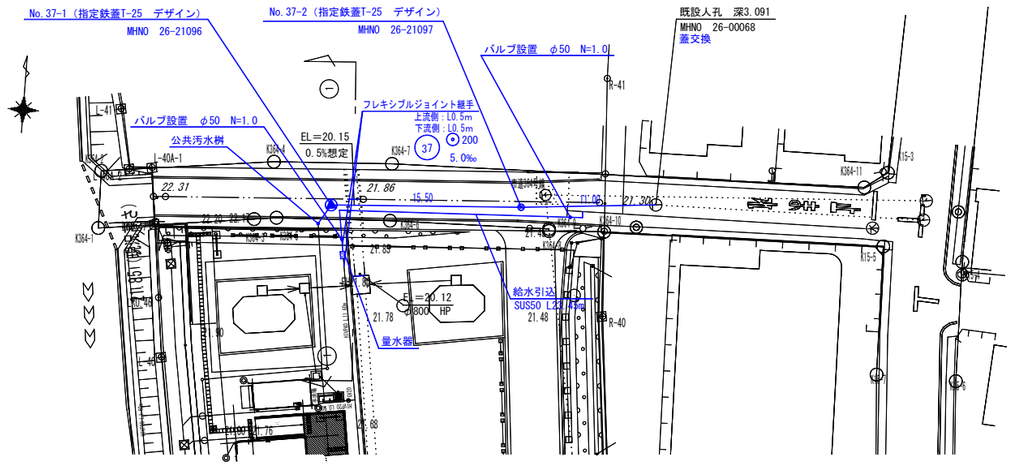
案　内　図

S=1:10000

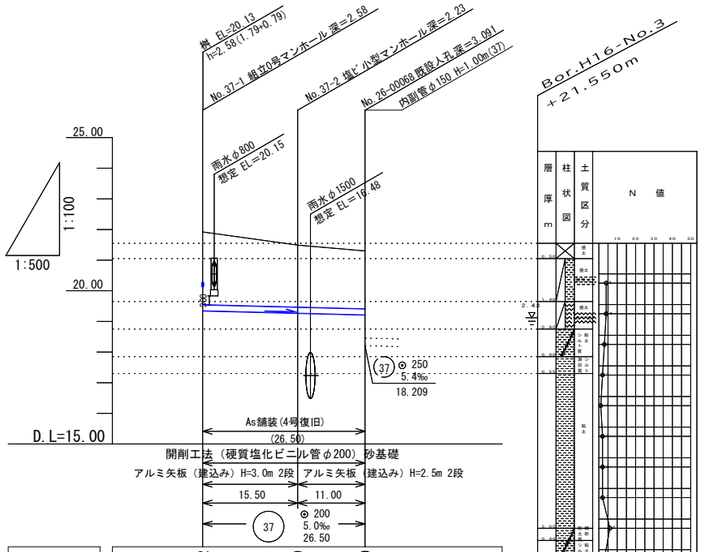


	海老名市 Ebina City	図面名称 案内図	図面番号 00
		縮尺 FREE	
		件名 市道364号線上下水道整備工事	

平　面　図　縮尺 1:250

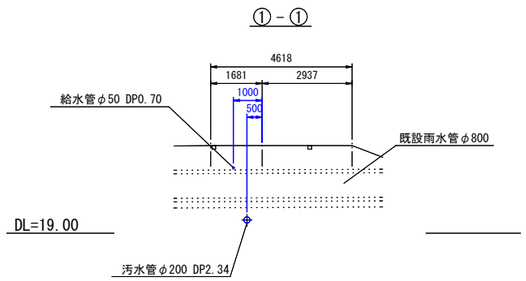


縦　断　面　図　縮尺 横=1:500　縦=1:100

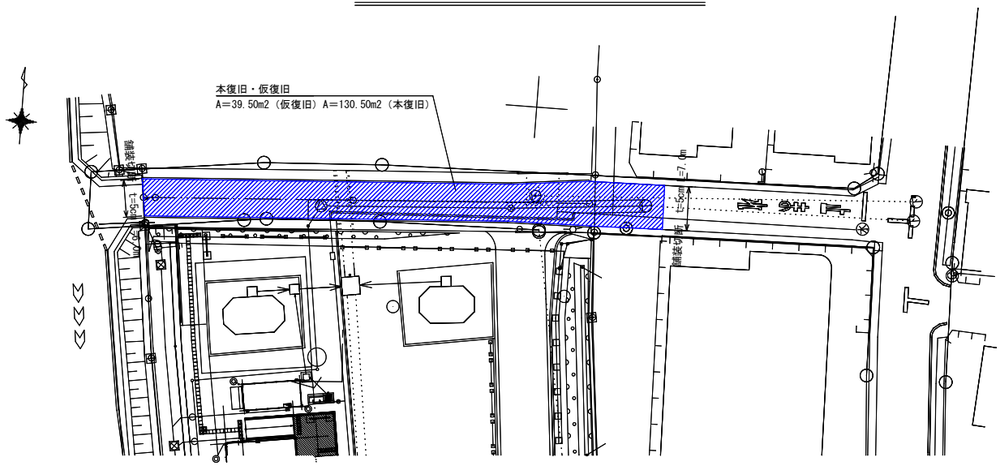


地盤高	21.92	21.49	21.30
土被り	2.37	2.02	1.88
管底高	19.342	19.264	19.209
掘削深	2.68	(2.51) 2.33	(2.26) 2.19
追加距離	0.00	15.50	26.50
単距離	0.00	15.50	11.00
人孔番号	37-1	37-2	既設 00-00068

横　断　面　図　縮尺 1:100

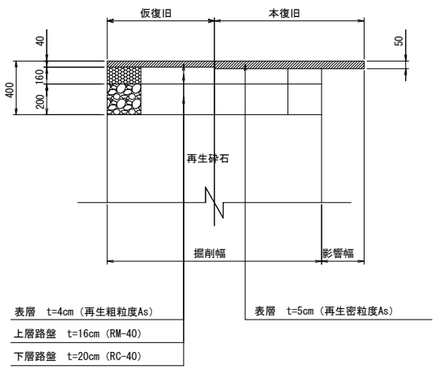


舗装復旧平面図　縮尺 1:250



本復旧・仮復旧

4号復旧



※施工の際に既存埋設物の位置及び高さを確認すること
※新設する水道管と汚水管の位置及び深さは既存埋設物から離隔を確保すること
※施工は各関係各所からの許可を得てから施工すること
※建築工事会社とよく協議し配置箇所等を調整すること
※各種官公庁協議を実施し許可後に工事着手すること
※工事着手にあたり事前に中日本高速道路株式会社と施工協議が必要となるため、確実に協議を行うこと
※上下水道の詳細な構造については各所管の官公庁と協議し決定すること

海老名市
Ebina City

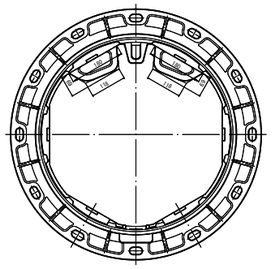
図面名称	全体計画図	図面番号	1／6
縮尺	図示		
件名	市道364号線上下水道整備工事		

O号組立マンホール標準構造図 S=1:20

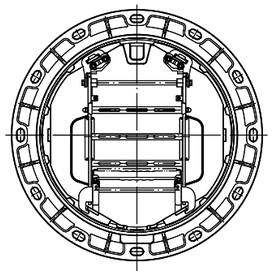
マンホール蓋



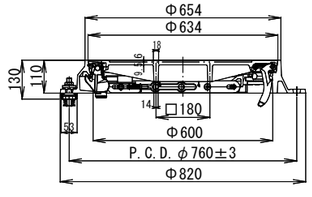
マンホール枠



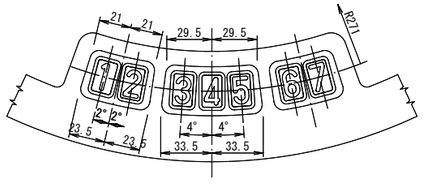
転落防止梯子付



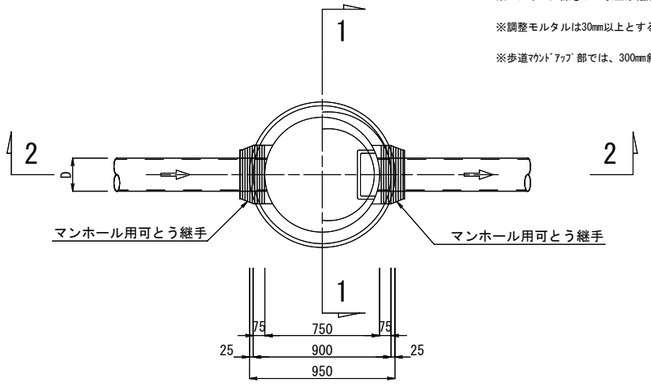
カバー・フレーム断面図



キャップ取付平面図



平 面 図



※50mmの調整リングは使用しないこと。

※マンホール深さ3～5mごとに中間スラブを設ける。

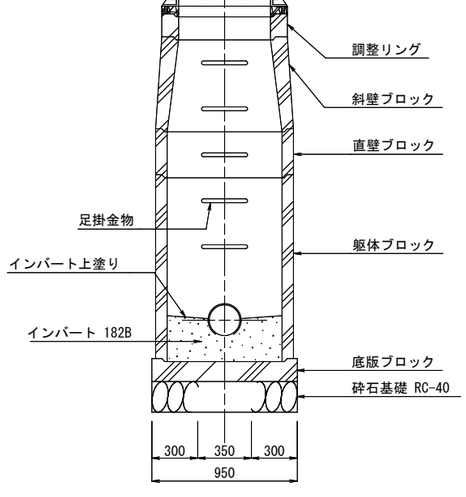
※緊急輸送路または車道が2車線以上の場合は、マンホール蓋はT-25を使用する。

※マンホール深さ2.0m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること。

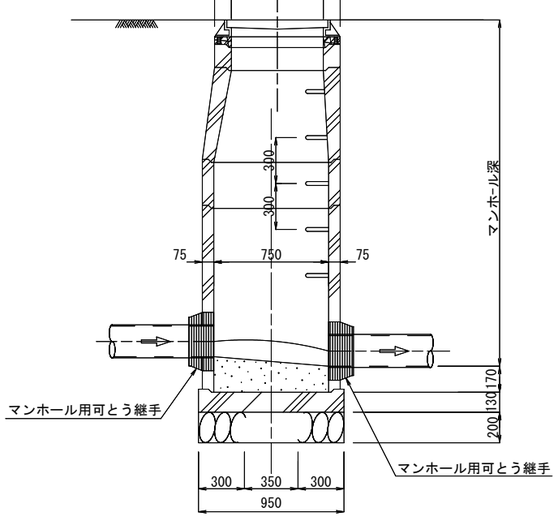
※調整モルタルは30mm以上とする。

※歩道ｱﾝﾄﾞﾌﾟｯﾌﾟ部では、300mm斜壁ﾌﾞﾛｯｸは使用不可とする。

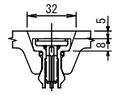
１－１断面図



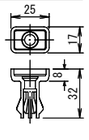
２－２断面図



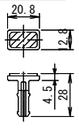
キャップ取付断面図



外枠キャップ詳細図

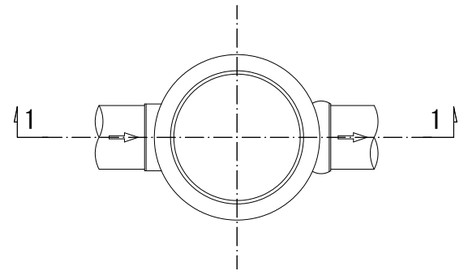


キャップ詳細図

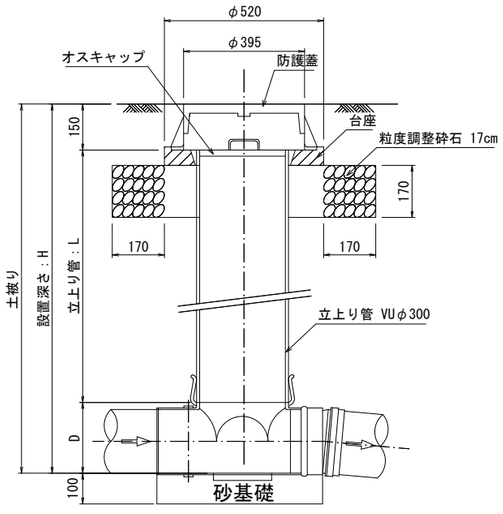


小口径塩ビマンホール標準構造図

平 面 図



１－１断面図



ストレート部

指定鉄蓋

縮尺無し（参考図）

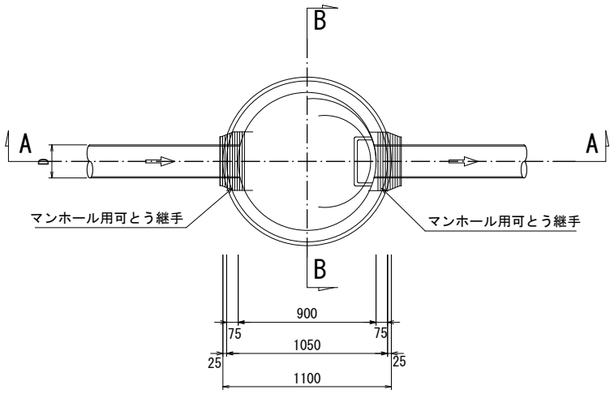


海老名市 Ebina City	図面名称	O号組立マンホール標準構造図	図面番号 2／6
	縮尺	A1:1/20　A3:1/40	
	件名	市道364号線上下水道整備工事	

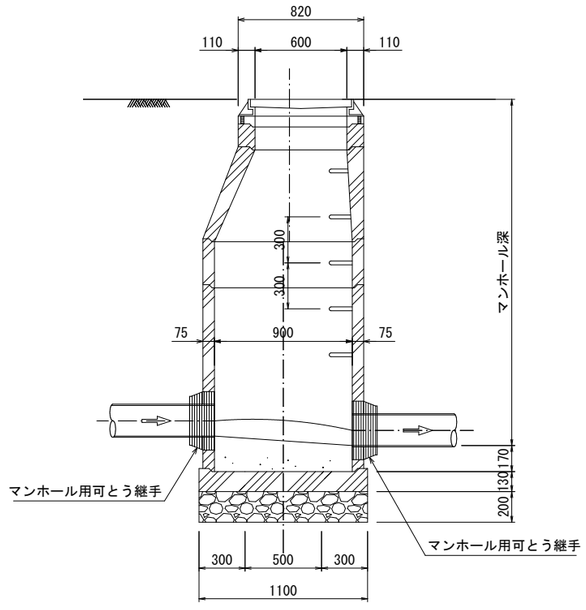
1号組立マンホール標準構造図　縮尺 1:20

※人孔深さH=2.00m以上は転落防止梯子付鉄蓋とすること
※緊急輸送路及び2車線以上の場合は
　マンホール蓋はT-25を使用すること
※調整リングは50mmは使用不可とすること
※調整モルタルは30mm以上使用すること

平 面 図

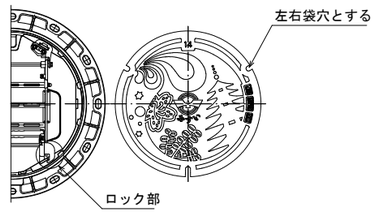


A－A 断面図

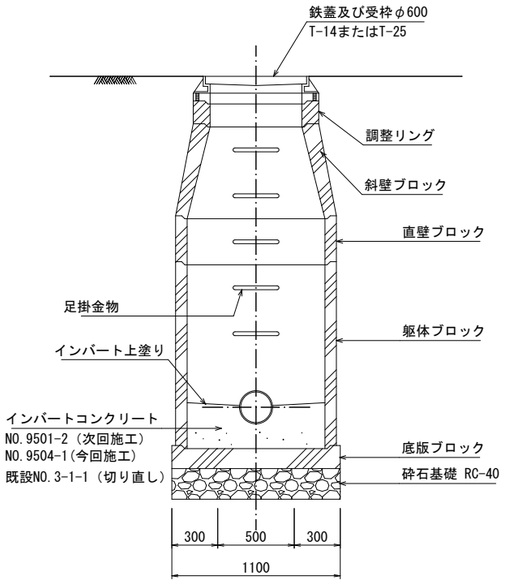


指定鉄蓋

縮尺無し(参考図)

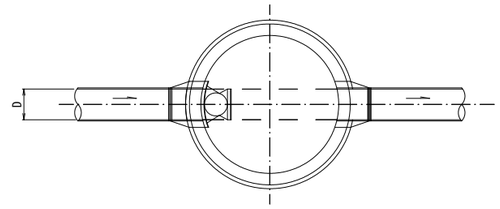


B－B 断面図

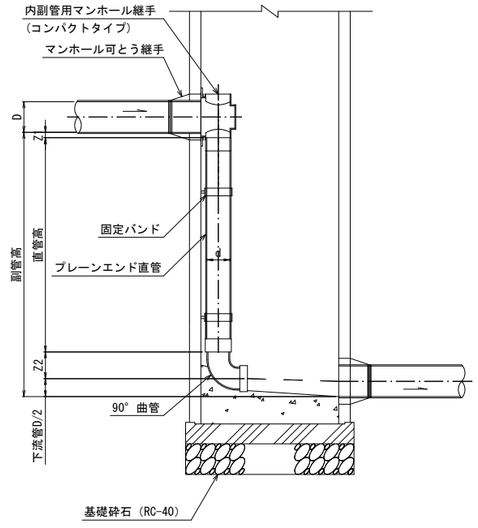


内 副 管

平 面 図



断 面 図



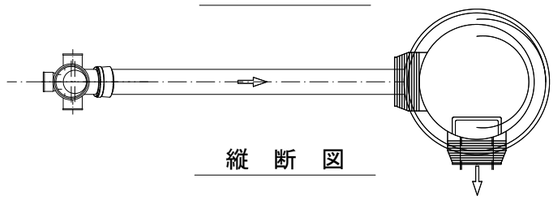
海老名市 Ebina City	図面名称 1号組立マンホール標準構造図	図面番号 3／6
	縮尺 A1:1/20　A3:1/40	
	件名 市道364号線上下水道整備工事	

取付管・土工標準図　縮尺 1:20

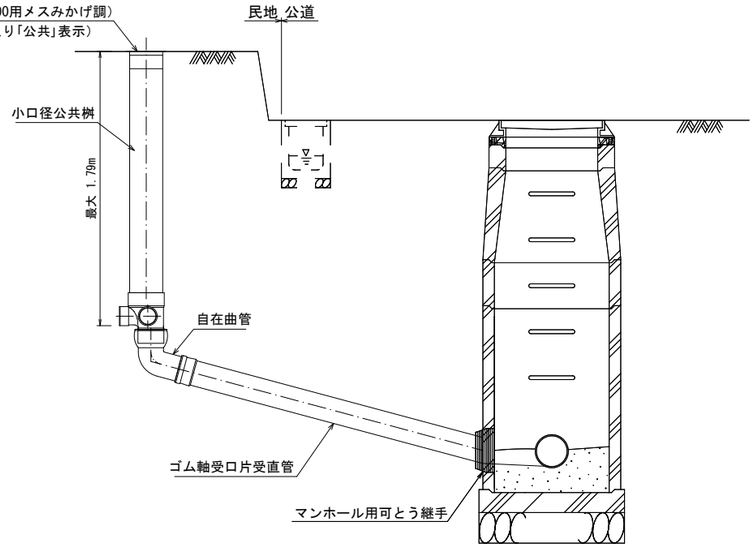
汚水桝取付管標準図

縦　型

平　面　図

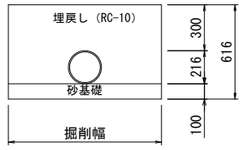


縦　断　図

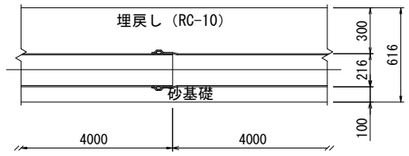


硬質塩化ビニル管基礎標準図

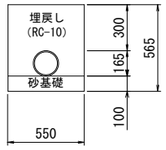
断　面　図



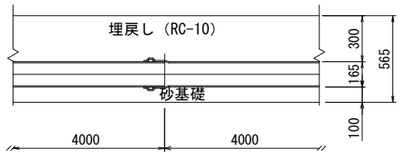
縦　断　図



断　面　図(取付管部)



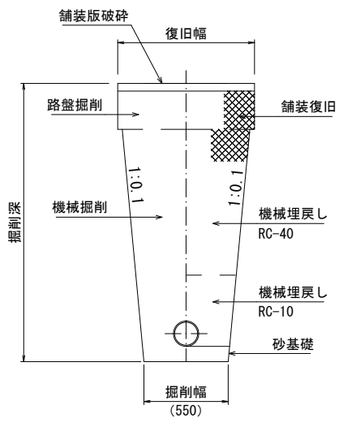
縦　断　図(取付管部)



土 工 標 準 図

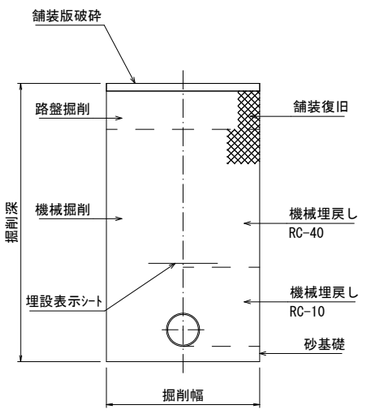
取付管
(塩ビ管φ150)

掘 削　埋戻し



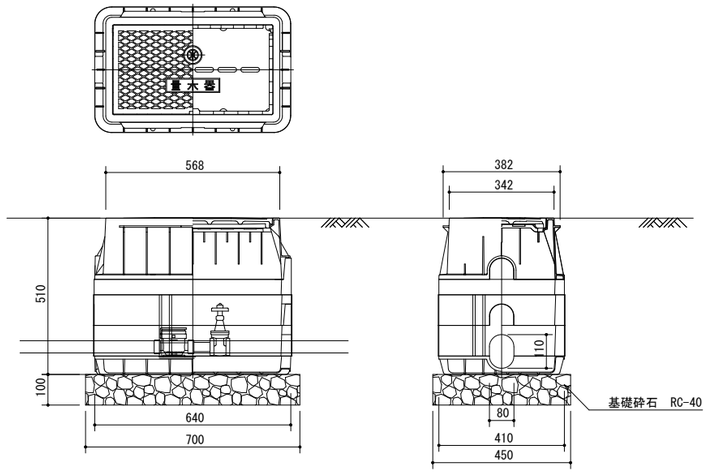
本　管
(塩ビ管φ200)

掘 削　埋戻し



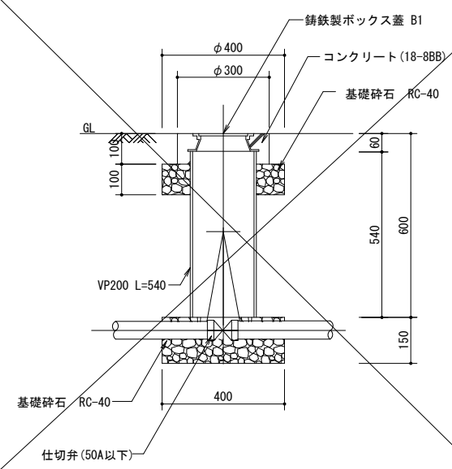
海老名市 Ebina City	図面名称	取付管・土工標準図	図面番号 4／6
	縮尺	A1:1/20　A3:1/40	
	件名	市道364号線上下水道整備工事	

量水器　S=1/10(20)

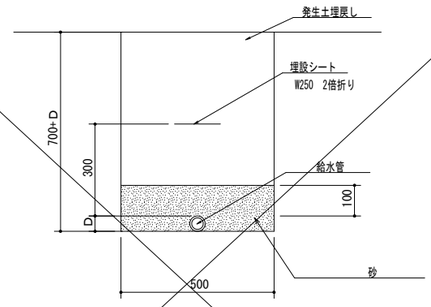


※メーター・止水栓は水道局支給

仕切弁　S=1/10(20)

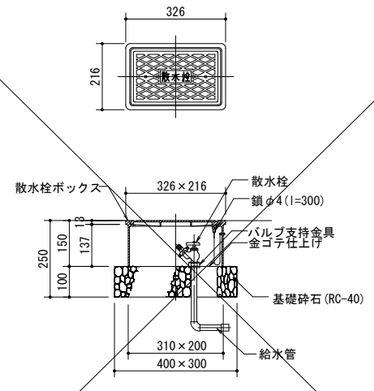


給水管埋設図（宅地内）　S=1/10(20)

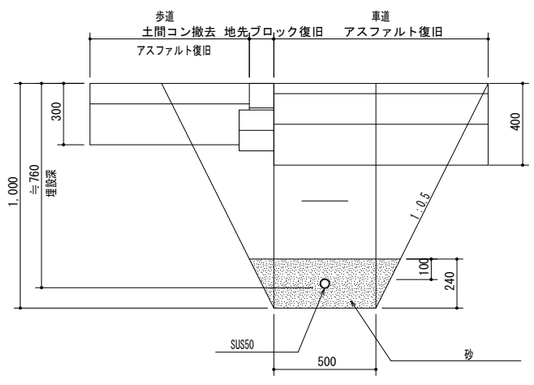


呼び径	外径(D)
HIVP13	18
HIVP20	26
HIVP30	38
HIVP40	48
HIVP50	60
HIVP65	76
HIVP100	114
HIVP125	140
HIVP200	216

散水栓　S=1/10(20)



給水管引込埋設図（道路内）　S=1/15(30)



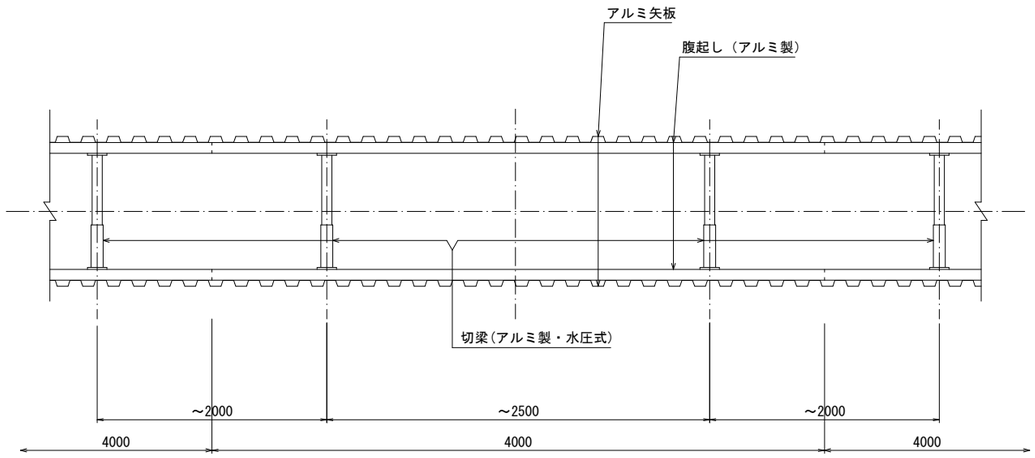
呼び径	外径(D)
SUS50	60

海老名市
Ebina City

図面名称	給水設備構造図	図面番号	5／6
縮尺	図示		
件名	市道364号線上下水道整備工事		

アルミ矢板土留工標準図　縮尺 1:20

平 面 図



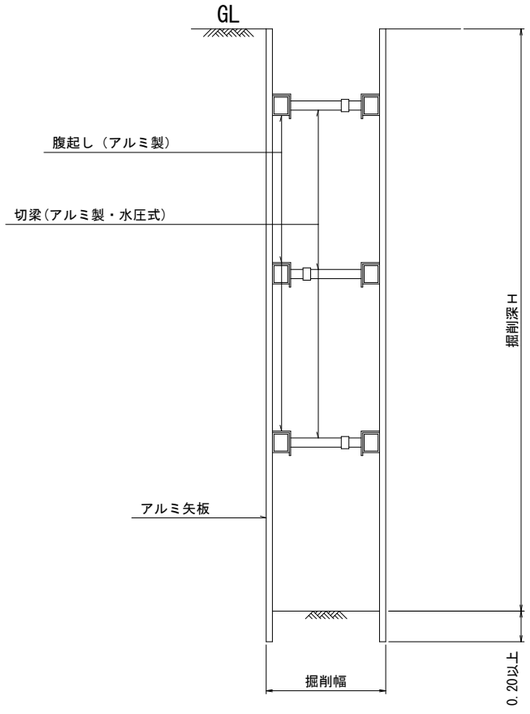
※）切梁間隔は掘削深度、施工状況を考慮し、安全な間隔で設置すること。

矢板設置基準

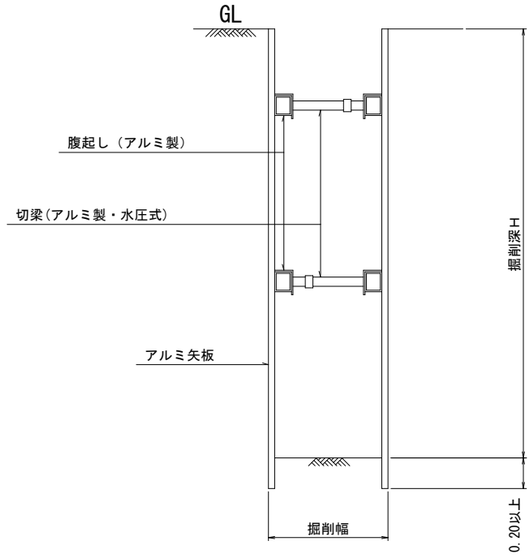
掘 削 深 (m)	矢板材 矢板長 (m)	支保工段数
1.5＜H≦1.8	2.0	1
1.8＜H≦2.0	2.5	1
2.0＜H≦2.3	2.5	2
2.3＜H≦2.8	3.0	2
2.8＜H≦3.3	3.5	2
3.3＜H≦3.5	4.0	2
3.5＜H≦3.8	4.0	3

断 面 図

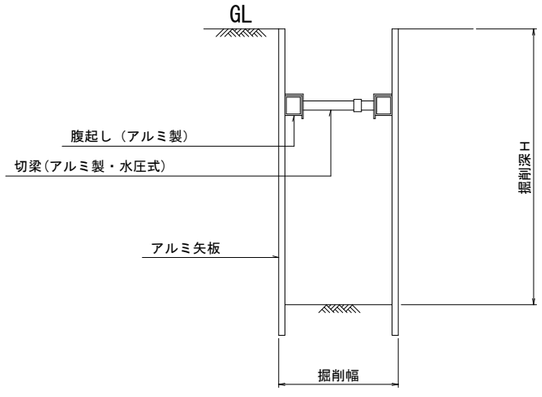
3 段 支 保
3.50m＜H≦3.80m



2 段 支 保
2.00m＜H≦3.50m



1 段 支 保
1.50m＜H≦2.00m



海老名市
Ebina City

図面名称	アルミ矢板土留工標準図
縮尺	A1:1/20　A3:1/40
件名	市道364号線上下水道整備工事
図面番号	6／6

令　和　8・9　年　度

市道３６４号線上下水道整備工事設計書

番　　号	デR８－７　費８－７　単10	施　工　年　度	令和８・９年度
名　　称	市道364号線上下水道整備工事		
場　　所	海老名市　河原口　地内		
施　工　主	海老名市	概要 工事延長 下水道 L=25.0m 上水道 L=23.0m 下水道 ○管きょ工　１式　塩ビ管φ200 ○マンホール工　１式　組立１号マンホール・組立０号マンホール内副管・小型塩ビマンホール ○人孔鉄蓋交換工　１式　標準鉄蓋 ○取付管及びます工　１式　管路土工・取付管・汚水桝設置 ○付帯工　１式　仮復旧・本復旧 ○仮設工　１式　交通誘導警備員 上水道 ○土工　１式　掘削 ○給水取出工　１式　給水取出工・給水布設工 ○埋戻工　１式　埋戻 ○仮設工　１式　交通誘導警備員	
設　計　区　分			
路　線　名			
期　　間	令和 8年 12月 22日 ～ 令和 9年 5月 31日		
日　　数	161 日		
部　課　名	文化スポーツ課		
積　算　担　当	営繕課		
合　計　額			
価　　格			
消費税相当額			

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
費	下水道工事（２）							
		管きょ工	下水道	式	1			A-　1号内訳書
		マンホール工	下水道	式	1			A-　2号内訳書
		人孔鉄蓋交換工	下水道	式	1			A-　3号内訳書
		取付管及びます工	下水道	式	1			A-　4号内訳書
		付帯工	上下水道	式	1			A-　5号内訳書
		仮設工	下水道	式	1			A-　6号内訳書
		土工	上水道	式	1			A-　7号内訳書
		給水取出工	上水道	式	1			A-　8号内訳書
		埋戻工	上水道	式	1			A-　9号内訳書
		仮設工	上水道	式	1			A-　10号内訳書
	直接工事費計							
	共通仮設費計							

内　　訳　　書

工事区分	工　　種	種　　別	細　　別	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
		運搬費		式	1			A-　11号内訳書
		共通仮設費		式	1			
	純工事費							
		現場管理費		式	1			
工事原価								
		一般管理費	(契約保証費含む)	式	1			発注者が金銭的保証を必要とする
		発生品評価額		式	1			A-　12号内訳書
工事価格								
消費税相当額								
合計額								
					1			

間　接　費　明　細　書

設　計　条　件

工　　種	下水道工事（２）	工事日数(内冬日数	161日/100日	共通仮設費対象外額	
場所区分	一般交通影響有り(２)	支給品費		現場管理費対象外額	
前払い率	35%超え	処分費		一般管理費対象外額	
契約保証区分	発注者が金銭的保証を必要とする	処分除外費		支給共仮費対象外額	
積雪寒冷地域	なし				

算　出　基　礎

※補正係数を乗じる場合は係数を乗じて、小数３位四捨五入２位止めとする。

共　通　仮　設　費　＝ 対象額×率
＝　×　％
＝

対象額 ＝ 直接工事費＋支給品費＋事業損失防止施設費－共通仮設費対象外額－支給共仮費対象外額＋準備費処分費－処分除外費
＝　＋　＋　－　－　＋　－
＝

率　＝ 対象額による率×地域補正係数
＝　％×
＝　％×　→　∴　％

対象額による率 ＝　％

現　場　管　理　費　＝ 対象額×率
＝　×　％
＝

対象額 ＝ 直接工事費＋共通仮設費＋支給品費＋支給品費(現)－現場管理費対象外額－支給現場費対象外額－処分除外費
＝　＋　＋　＋　－　－　－
＝

率　＝ 対象額による率×地域補正係数
＝　％×
＝　％×　→　∴　％

対象額による率 ＝　％

間　接　費　明　細　書

算　　出　　基　　礎

一　般　管　理　費　＝　対象額×率＋対象額×契約保証補正値－調整額
＝　　×　％＋　　×　％－
＝

対象額　＝　工事原価－一般管理費対象外額－処分除外費＋一般管理補正額
＝　　－　　－　　＋
＝

率　　＝　対象額による率×前払補正
＝　　％×
＝　　％×　　→　　∴　％

対象額による率　＝　　％

A-　1号　　1式当たり　　内訳書

管きょ工

下水道

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路土工		式	1			B-　1号明細書
管布設工		式	1			B-　2号明細書
管基礎工		式	1			B-　3号明細書
管路土留工		式	1			B-　4号明細書
開削水替工		式	1			B-　5号明細書
計						

A-　2号　　1式当たり　　内訳書

マンホール工

下水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
マンホール工		式	1			B-　6号明細書
計						

A-　3号　　1式当たり　　内訳書

人孔鉄蓋交換工

下水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
人孔鉄蓋交換工		箇所	1			B-　7号明細書
計						

A-　4号　　1式当たり　　内訳書

取付管及びます工

下水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路土工		式	1			B-　8号明細書
ます設置工		式	1			B-　9号明細書
取付管布設工		式	1			B-　10号明細書
計						

A-　5号　　1式当たり　　内訳書

付帯工

上下水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
仮復旧工		式	1			B-　11号明細書
本復旧工		式	1			B-　12号明細書
計						

A-　6号　　1式当たり　　内訳書

仮設工

下水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導員		式	1			B-　13号明細書
計						

A-　7号　　1式当たり　　内訳書

土工

上水道

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路土工		式	1			B-　14号明細書
計						

A-　8号　　1式当たり　　内訳書

給水取出工

上水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
給水取出工	100×50	箇所	1			
給水管布設工	SUSφ50	m	23			
スリースバルブ設置	φ50　筐設置含む	箇所	2			
メーター廻り配管	φ40	箇所	1			
給水材料		式	1			B-　15号明細書
明示シート敷設	W＝40ｃｍ	m	23			
計						

A-　9号　　1式当たり　　内訳書

埋戻工

上水道

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路土工		式	1			B-　16号明細書
計						

A- 10号　　1式当たり　　内訳書

仮設工

上水道

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		現場	1			C- 1号単価表
計						

A- 11号　　1式当たり　　内訳書

運搬費

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
仮設材の積込み､取卸し	基地～現場～基地	t	0.998			C- 2号単価表
仮設材の運搬費(鋼矢板･H形鋼･覆工板･敷鉄板等)	(A)長12m以内,距離10kmまで、往復	t	0.998			C- 3号単価表
計						

A- 12号　　1式当たり　　内訳書

発生品評価額

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
スクラップ費		t	0.092			
計						

B-　1号　　1式当たり　　明細書

管路土工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路掘削		式	1			C-　4号単価表
管路埋戻		式	1			C-　5号単価表
発生土処理		式	1			C-　6号単価表
路盤材処理		式	1			C-　7号単価表
計						

B-　2号　　1式当たり　　明細書

管布設工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
硬質塩化ビニル管		m	25			C-　8号単価表
埋設標識ｼｰﾄ敷設		m	25			C-　9号単価表
計						

B-　3号　　1式当たり　　明細書

管基礎工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
砂基礎		m3	2			C-　10号単価表
計						

B-　4号　　1式当たり　　明細書

管路土留工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
アルミ矢板土留	掘削深さ2.5m以下	式	1			C-　11号単価表
アルミ矢板土留	掘削深さ3.0m以下	式	1			C-　12号単価表
仮設材賃料		式	1			B-　17号明細書
計						

B-　5号　　1式当たり　　明細書

開削水替工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
開削水替		式	1			C-　13号単価表
計						

B-　6号　　1式当たり　　明細書

マンホール工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
組立マンホール工		式	1			B-　18号明細書
小型マンホール工		式	1			B-　19号明細書
計						

B-　7号　　10箇所当たり　　明細書

人孔鉄蓋交換工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工(機械施工) 昼間	鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要	m3	0.1			C- 14号単価表
殻運搬		m^3	0.1			C- 15号単価表
廃材処理料(北部地区)	無筋Ｃｏ殻	m3	0.1			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ	25kg	袋	6			
ﾓﾙﾀﾙ練工	配合比 1:2	m^2	0.07			E- 6号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-25,転落防止梯子付き	組	10			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	10			
ケミカルアンカー		本	30			
蓋(受枠とも)据付工		組	10			D- 1号単価表
蓋(受枠とも)撤去工		組	10			D- 2号単価表
現場発生品及び支給品運搬		t	0.92			C- 16号単価表
計						
１箇所当たり						

B-　8号　　1式当たり　　明細書

管路土工

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路掘削		式	1			C-　17号単価表
管路埋戻		式	1			C-　18号単価表
発生土処理		式	1			C-　19号単価表
路盤材処理		式	1			C-　20号単価表
計						

B-　9号　　1式当たり　　明細書

ます設置工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ま す		箇所	1			C-　21号単価表
計						

B- 10号　　1式当たり　　明細書

取付管布設工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
取付管		式	1			C- 22号単価表
計						

B- 11号　　1式当たり　　明細書

仮復旧工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断		m	102			C- 23号単価表
舗装版切断濁水処理工	北部地区	式	1			C- 24号単価表
舗装版破砕		㎡	39			C- 25号単価表
殻運搬		㎥	2			C- 26号単価表
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m3	2			
下層路盤（歩道部）		㎡	39			C- 27号単価表
上層路盤（歩道部）		㎡	39			C- 28号単価表
表層（歩道部）		㎡	39			C- 29号単価表
計						

B- 12号　　1式当たり　　明細書

本復旧工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断		m	13			C- 23号単価表
舗装版切断濁水処理工	北部地区	式	1			C- 30号単価表
舗装版破砕		㎡	130			C- 25号単価表
殻運搬		㎥	6			C- 26号単価表
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m3	6			
機械掘削工（バックホウ）		m3	0.4			D- 3号単価表
路盤材処理		式	1			C- 20号単価表
表層（車道・路肩部）		㎡	130			C- 31号単価表
不陸整正		㎡	130			C- 32号単価表
計						

B- 13号　　1式当たり　　明細書

交通誘導員

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		現場	1			C- 33号単価表
計						

B- 14号　　1式当たり　　明細書

管路土工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路掘削		式	1			C- 34号単価表
発生土処理		式	1			C- 35号単価表
計						

B-　15号　　1式当たり　　明細書

給水材料

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
絶縁型サドル付分水栓	φ100×50	個	1			
分岐用波状管	φ50	本	1			
SUS直管	φ50	本	4			
中間用波状管	φ50	本	2			
ソケット	φ50	個	10			
スリースバルブ	φ50　埋設用	個	2			
GPシモク	φ50	個	4			
絶縁型袋ナット付短管	φ50	個	4			
ネジ筐	φ50　道路用	個	1			
宅内筐	バルブ用	個	1			
メーター用波状管	φ40	本	2			
メーターバルブ	φ40	個	1			
メーターボックス	φ40	個	1			

B-　15号　　1式当たり　　明細書

給水材料

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
GPシモク	φ40	個	1			
絶縁型袋ナット付短管	φ40	個	1			
ソケット	φ40	個	2			
ソケット	φ40　コア	個	1			
その他雑材		式	1			
計						

B- 16号　　1式当たり　　明細書

管路土工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
管路埋戻		式	1			C- 36号単価表
計						

B- 17号　　1式当たり　　明細書

仮設材賃料

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
アルミ矢板賃料	L=2.5m	式	1			
アルミ矢板賃料	L=3.0m	式	1			
アルミ腹起し		式	1			
水圧パイプサポート		式	1			
水圧手動ポンプ		式	1			
計						

B- 18号　　1式当たり　　明細書

組立マンホール工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
組立１号マンホール	人孔深3.091m（ＮＯ．00-00068）	箇所	1			C- 37号単価表
組立０号マンホール	人孔深2.58m（ＮＯ．26-21096）	箇所	1			C- 38号単価表
内副管		箇所	1			C- 39号単価表
計						

B- 19号　　1式当たり　　明細書

小型マンホール工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
小型マンホール（塩化ビニル製）	人孔深さ2.23m37-2	箇所	1			C- 40号単価表
計						

C-　1号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ｂ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人日	9			
計						

C-　2号　　1ｔ当たり　　単価表

仮設材の積込み、取卸し

基地～現場～基地

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
仮設材の基地積込み、現場取卸し		t	1			
仮設材の現場積込み、基地取卸し		t	1			
計						

C-　3号　　1ｔ当たり　　単価表

仮設材の運搬費(鋼矢板･H形鋼･覆工板･敷鉄板等)

（A)長12m以内,距離10kmまで、往復

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
仮設材運搬費（A）		t	1			
計						

C-　4号　　1式当たり　　単価表

管路掘削

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械掘削工（バックホウ）		m3	53			D-　3号単価表
機械掘削工（バックホウ）		m3	13			D-　3号単価表
計						

C-　5号　　1式当たり　　単価表

管路埋戻

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械投入埋戻工（購入土）	ﾊﾞｯｸﾎｳ	m3	12			D-　4号単価表
機械投入埋戻工（購入土）	ﾊﾞｯｸﾎｳ	m3	36			D-　5号単価表
計						

C-　6号　　1式当たり　　単価表

発生土処理

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土処分工 （機械積込み）		m3	53			D-　6号単価表
発生土処分料	指定A(愛川町田代受入地)	m3	53			
計						

C-　7号　　1式当たり　　単価表

路盤材処理

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
路盤材処分工 （機械積込み）		m3	13			D-　7号単価表
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層･下層)	m3	13			
計						

C-　8号　　10m当たり　　単価表

硬質塩化ビニル管

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
硬質塩化ビニル管設置工	管径200㎜	m	10			D-　8号単価表
計						
１ｍ当たり						
１ｍ当たり						

C-　9号　　100m当たり　　単価表

埋設標識ｼｰﾄ敷設

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
普通作業員		人	0.4			
埋設明示シート	幅400　２倍	巻	2			
計						
１ｍ当たり						

C- 10号　　10m3当たり　　単価表

砂基礎

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
砂基礎設置工（機械施工）		m3	10			D- 9号単価表
計						
１m3当たり						

C- 11号　　1式当たり　　単価表

アルミ矢板土留

掘削深さ2.5m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深 2.5m以下	m	11			D- 10号単価表
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深 2.5m以下	m	11			D- 11号単価表
軽量金属支保工設置(切梁材)	2段、掘削深3.5m以下、水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	m	11			E- 3号単価表
計						

C- 12号　　1式当たり　　単価表

アルミ矢板土留

掘削深さ3.0m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
アルミ矢板建込工(両側分)	掘削深 3.0m以下	m	17			D- 12号単価表
アルミ矢板引抜工(両側分)	掘削深 3.0m以下	m	17			D- 13号単価表
土留支保工(軽量金属支保工)	２段、掘削深3.5m以下、水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ	m	17			D- 14号単価表
計						

C- 13号　　1式当たり　　単価表

開削水替

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ポンプ運転工（作業時排水、発動発電機）	口径50㎜、揚程5ｍ×2台	日	5			D- 15号単価表
ポンプ据付・撤去工	口径50㎜、揚程5ｍ×1～2台	現場	1			D- 16号単価表
計						

C- 14号　　1m3当たり　　単価表

構造物とりこわし工(機械施工) 昼間

鉄筋構造物 制約無,低騒音・低振動対策不要

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
構造物とりこわし工 昼間	鉄筋構造物 機械施工 制約無	m3	1			
計						

C- 15号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし 積込工法区分:機械積込 DID区間の有無:有り	㎥	1			施工P-01
	運搬距離:5.7km以下					
計						

C- 15号単価表(施工P-01)　　積算単位:m^3　　標準単価:

殻運搬

殻発生作業:ｺﾝｸﾘｰﾄ(鉄筋)構造物とりこわし、積込工法区分:機械積込、DID区間の有無:有り、運搬距離:5.7km以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			39.03			
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	供/日	39.03			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			46.18			
R1	運転手(一般)	人	46.18			
R2						
R3						
R4						
R5						
材料Z			14.79			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	14.79			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{39.03}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{39.03}{39.03} + \left(\frac{46.18}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{46.18}{46.18} + \left(\frac{14.79}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{14.79}{14.79} + \frac{100-39.03-46.18-14.79}{100} \right\} =$$

C- 16号　　1ｔ当たり　　単価表

現場発生品及び支給品運搬

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
現場発生品及び支給品運搬	ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸ通称2t積級, 吊能力2.9t DID区間の有無:有り 片道運搬距離(km):9.0km以下	t	1			施工P-01
計						

C- 16号単価表(施工P-01)　　積算単位: t　　標準単価:

現場発生品及び支給品運搬

ﾄﾗｯｸ機種:ﾄﾗｯｸ通称2t積級, 吊能力2.9t、DID区間の有無:有り、片道運搬距離(km):9.0km以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			13.14			
K1	ﾄﾗｯｸ ｸﾚｰﾝ装置付	供/日	13.14			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			83.98			
R1	運転手(特殊)	人	42.42			
R2	特殊作業員	人	41.56			
R3						
R4						
R5						
材料Z			2.88			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	2.88			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{13.14}{100} \times \frac{13.14}{13.14} \right) \times \frac{13.14}{13.14} + \left(\frac{42.42}{100} \times \frac{83.98}{42.42+41.56} + \frac{41.56}{100} \times \frac{83.98}{42.42+41.56} \right) \times \frac{83.98}{42.42+41.56} + \left(\frac{2.88}{100} \times \frac{2.88}{2.88} \right) \times \frac{2.88}{2.88} + \frac{100-13.14-83.98-2.88}{100} \right\} =$$

C- 17号　　1式当たり　　単価表

管路掘削

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械掘削工（小型バックホウ）		m3	3			D- 17号単価表
機械掘削工（小型バックホウ）		m3	0.4			D- 17号単価表
計						

C- 18号　　1式当たり　　単価表

管路埋戻

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械投入埋戻工（購入土）	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ	m3	0.5			D- 18号単価表
機械投入埋戻工（購入土）	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ	m3	2			D- 19号単価表
計						

C- 19号　　1式当たり　　単価表

発生土処理

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土処分工 （機械積込み）		m3	3			D- 20号単価表
発生土処分料	指定A(愛川町田代受入地)	m3	3			
計						

C- 20号　　1式当たり　　単価表

路盤材処理

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土処分工 （機械積込み）		m3	0.4			D- 21号単価表
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層･下層)	m3	0.4			
計						

C- 21号　　1箇所当たり　　単価表

ま す

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ます設置工(塩化ビニル製)	ます(径200)	箇所	1			D- 22号単価表
計						

C-　22号　　1式当たり　　単価表

取付管

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
取付管布設工及び支管取付工	管径150	箇所	1			D-　23号単価表
計						

C-　23号　　1m当たり　　単価表

舗装版切断

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下	m	1			施工P-01
計						

C- 23号単価表(施工P-01)　　積算単位:m　　標準単価:

舗装版切断

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版厚:15cm以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			14.40			
K1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ ﾊﾞｷｭｰﾑ式(超低騒音型) 湿式･ｴﾝｼﾞﾝ駆動	供/日	9.80			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			58.90			
R1	特殊作業員	人	20.20			
R2	土木一般世話役	人	10.89			
R3	普通作業員	人	9.00			
R4						
R5						
材料Z			26.70			
Z1	ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)／径18ｲﾝﾁ	枚	22.47			
Z2	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	L	2.88			
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{9.80}{100} \times \frac{14.40}{9.80} \right) \times \frac{58.90}{20.20+10.89+9.00} \right.$$
$$+ \left(\frac{20.20}{100} \times \frac{10.89}{100} \times \frac{9.00}{100} \right) \times \frac{26.70}{22.47+2.88}$$
$$\left. + \frac{100-14.40-58.90-26.70}{100} \right\} =$$

C- 24号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工

北部地区

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断濁水運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ	回	1			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m3	0.117			
計						

C- 25号　　1㎡当たり　　単価表

舗装版破砕

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版破砕	舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 障害等の有無:無し 騒音振動対策:不要	㎡	1			施工P-01
	舗装版厚:15cm以下					
計						

C- 25号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

舗装版破砕

舗装版種別:ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版、障害等の有無:無し、騒音振動対策:不要、舗装版厚:15cm以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			12.28			
K1	ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ､後超小旋回・超低騒音)賃料／山積0.45m3 (平積0.35m3)	日	12.28			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			81.66			
R1	土木一般世話役	人	29.51			
R2	運転手(特殊)	人	27.76			
R3	普通作業員	人	24.39			
R4						
R5						
材料Z			6.06			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	6.06			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{12.28}{100} \times \frac{12.28}{12.28} \right) + \left(\frac{29.51}{100} \times \frac{81.66}{29.51+27.76+24.39} + \frac{27.76}{100} \times \frac{81.66}{29.51+27.76+24.39} + \frac{24.39}{100} \times \frac{81.66}{29.51+27.76+24.39} \right) + \left(\frac{6.06}{100} \times \frac{6.06}{6.06} \right) + \frac{100-12.28-81.66-6.06}{100} \right\} =$$

C- 26号　　1㎥当たり　　単価表

殻運搬

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
殻運搬	殻発生作業:舗装版破砕 積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm超)又は(騒音対策必要) DID区間の有無:有り	㎥	1			施工P-01
	運搬距離:5.5km以下					
計						

C- 26号単価表(施工P-01)　　積算単位:m^3　　標準単価:

殻運搬
殻発生作業:舗装版破砕、積込工法区分:機械積込(騒音対策不要,舗装版厚15cm超)又は(騒音対策必要)
DID区間の有無:有り、運搬距離:5.5km以下

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			42.27			
K1	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ	供/日	42.27			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			41.18			
R1	運転手(一般)	人	41.18			
R2						
R3						
R4						
R5						
材料Z			16.55			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	16.55			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{42.27}{100} \times \frac{\quad}{42.27} \right) \times \frac{42.27}{42.27} + \left(\frac{41.18}{100} \times \frac{\quad}{41.18} \right) \times \frac{41.18}{41.18} + \left(\frac{16.55}{100} \times \frac{\quad}{16.55} \right) \times \frac{16.55}{16.55} + \frac{100-42.27-41.18-16.55}{100} \right\} =$$

C- 27号　　1㎡当たり　　単価表

下層路盤（歩道部）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
下層路盤（歩道部）	全仕上り厚:実数入力 施工区分:1層施工	㎡	1			施工P-01
計						

C- 27号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

下層路盤（歩道部）　　入力数量: 200mm

全仕上り厚:実数入力、施工区分:1層施工

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			4.82			
K1	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 超低騒・後方超小旋 排対型(3次基準)	供/日	2.88			
K2	振動ﾛｰﾗ(舗装用、搭乗・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式)賃料／質量 3～4ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	1.71			
K3						
K4						
K5						
労務R			76.32			
R1	運転手(特殊)	人	27.48			
R2	特殊作業員	人	16.13			
R3	普通作業員	人	15.97			
R4	土木一般世話役	人	13.11			
R5						
材料Z			18.86			
Z1	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ／RC-40	m3	16.70			
Z2	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	2.06			
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{2.88}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{1.71}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{4.82}{2.88+1.71} + \left(\frac{27.48}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{16.13}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{15.97}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{13.11}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{76.32}{27.48+16.13+15.97+13.11} + \left(\frac{16.70}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{2.06}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{18.86}{16.70+2.06} + \frac{100-4.82-76.32-18.86}{100} \right\} =$$

C-　28号　　1㎡当たり　　単価表

上層路盤（歩道部）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
上層路盤（歩道部）	全仕上り厚:実数入力 施工区分:2層施工	㎡	1			施工P-01
計						

C- 28号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

上層路盤（歩道部）　　入力数量: 160mm

全仕上り厚:実数入力、施工区分:2層施工

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			4.25			
K1	小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 超低騒・後方超小旋 排対型(3次基準)	供/日	2.54			
K2	振動ﾛｰﾗ(舗装用、搭乗・ｺﾝﾊﾞｲﾝﾄﾞ式)賃料／質量 3～4ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	1.51			
K3						
K4						
K5						
労務R			67.15			
R1	運転手(特殊)	人	24.17			
R2	特殊作業員	人	14.20			
R3	普通作業員	人	14.05			
R4	土木一般世話役	人	11.54			
R5						
材料Z			28.60			
Z1	再生粒度調整砕石／RM-40	m3	26.70			
Z2	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	1.81			
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = & \times \left\{ \left(\frac{2.54}{100} \times \frac{}{} + \frac{1.51}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{4.25}{2.54+1.51} \right. \\
& + \left(\frac{24.17}{100} \times \frac{}{} + \frac{14.20}{100} \times \frac{}{} + \frac{14.05}{100} \times \frac{}{} + \frac{11.54}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{67.15}{24.17+14.20+14.05+11.54} \\
& + \left(\frac{26.70}{100} \times \frac{}{} + \frac{1.81}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{28.60}{26.70+1.81} \\
& \left. + \frac{100-4.25-67.15-28.60}{100} \right\} =
\end{aligned}
$$

C- 29号　　1㎡当たり　　単価表

表層（歩道部）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（歩道部）	平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下) 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	㎡	1			施工P-01
	瀝青材料種類:無し					
計						

C- 29号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

表層 (歩道部)　　入力数量: 40mm

平均幅員:1.4m未満(1層当り平均仕上り厚50mm以下)、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)、瀝青材料種類:無し

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			0.45			
K1	振動ﾛｰﾗ(舗装用) ﾊﾝﾄﾞｶﾞｲﾄﾞ式	供/日	0.33			
K2	振動ｺﾝﾊﾟｸﾀ 前進型	供/日	0.09			
K3						
K4						
K5						
労務R			53.09			
R1	特殊作業員	人	22.93			
R2	普通作業員	人	20.50			
R3	土木一般世話役	人	6.19			
R4						
R5						
材料Z			46.46			
Z1	再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物／再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20)	t	46.28			
Z2	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	L	0.12			
Z3	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	0.05			
Z4						
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = & \times \left\{ \left(\frac{0.33}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.09}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{0.45}{0.33+0.09} \right. \\
& + \left(\frac{22.93}{100} \times \frac{}{} + \frac{20.50}{100} \times \frac{}{} + \frac{6.19}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{53.09}{22.93+20.50+6.19} \\
& + \left(\frac{46.28}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.12}{100} \times \frac{}{} + \frac{0.05}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{46.46}{46.28+0.12+0.05} \\
& \left. + \frac{100-0.45-53.09-46.46}{100} \right\} =
\end{aligned}
$$

C-　30号　　1式当たり　　単価表

舗装版切断濁水処理工

北部地区

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
舗装版切断濁水運搬費	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ	回	1			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m3	0.015			
計						

C- 31号　　1㎡当たり　　単価表

表層（車道・路肩部）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
表層（車道・路肩部）	平均幅員:3.0m超 1層当り平均仕上り厚:実数入力 材料:密粒度ｱｽｺﾝ(20)	㎡	1			施工P-01
	瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3					
計						

C- 31号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

表層 (車道・路肩部)　　入力数量: 50mm

平均幅員:3.0m超、1層当り平均仕上り厚:実数入力、材料:密粒度ｱｽｺﾝ(20)、瀝青材料種類:ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			1.32			
K1	ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｨﾆｯｼｬ賃料／ﾎｲｰﾙ型、舗装幅2.3～6.0m	日	0.84			
K2	ﾀｲﾔﾛｰﾗ(普通型)賃料／質量 13～14ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	0.13			
K3	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(ﾏｶﾀﾞﾑ)賃料／質量 10～12ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	0.13			
K4						
K5						
労務R			10.25			
R1	普通作業員	人	3.69			
R2	運転手(特殊)	人	2.07			
R3	特殊作業員	人	2.05			
R4	土木一般世話役	人	0.73			
R5						
材料Z			88.43			
Z1	再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物／再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	80.48			
Z2	ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤／PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	L	7.39			
Z3	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	0.47			
Z4						
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = \times \Bigg\{ & \left(\frac{0.84}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{0.13}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{0.13}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{1.32}{0.84 + 0.13 + 0.13} \\
& + \left(\frac{3.69}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{2.07}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{2.05}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{0.73}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{10.25}{3.69 + 2.07 + 2.05 + 0.73} \\
& + \left(\frac{80.48}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{7.39}{100} \times \frac{\quad}{\quad} + \frac{0.47}{100} \times \frac{\quad}{\quad} \right) \times \frac{88.43}{80.48 + 7.39 + 0.47} \\
& + \frac{100 - 1.32 - 10.25 - 88.43}{100} \Bigg\} =
\end{aligned}
$$

C- 32号　　1㎡当たり　　単価表

不陸整正

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
不陸整正	補足材料の有無:無し	㎡	1			施工P-01
計						

C- 32号単価表(施工P-01)　　積算単位:㎡　　標準単価:

不陸整正

補足材料の有無:無し

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			20.65			
K1	ﾓｰﾀｸﾞﾚｰﾀﾞ 土工用 排対型(2014年規制)	供/日	16.56			
K2	ﾛｰﾄﾞﾛｰﾗ(ﾏｶﾀﾞﾑ)賃料／質量 10～12ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	2.07			
K3	ﾀｲﾔﾛｰﾗ(普通型)賃料／質量 13～14ｔ(排出ｶﾞｽ対策型含む)	日	2.02			
K4						
K5						
労務R			72.60			
R1	運転手(特殊)	人	35.73			
R2	普通作業員	人	14.71			
R3	特殊作業員	人	11.49			
R4	土木一般世話役	人	10.67			
R5						
材料Z			6.75			
Z1	軽 油／ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	6.75			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$
\begin{aligned}
P' = {} & \times \left\{ \left(\frac{16.56}{100} \times \frac{}{} + \frac{2.07}{100} \times \frac{}{} + \frac{2.02}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{20.65}{16.56+2.07+2.02} \right. \\
& + \left(\frac{35.73}{100} \times \frac{}{} + \frac{14.71}{100} \times \frac{}{} + \frac{11.49}{100} \times \frac{}{} + \frac{10.67}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{72.60}{35.73+14.71+11.49+10.67} \\
& + \left(\frac{6.75}{100} \times \frac{}{} \right) \times \frac{6.75}{6.75} \\
& \left. + \frac{100-20.65-72.60-6.75}{100} \right\} =
\end{aligned}
$$

C- 33号　　1現場当たり　　単価表

交通誘導警備員Ｂ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
交通誘導警備員Ｂ		人日	18			
計						

C- 34号　　1式当たり　　単価表

管路掘削

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械掘削工（バックホウ）		m3	13			D- 3号単価表
計						

C- 35号　　1式当たり　　単価表

発生土処理

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土処分工 (機械積込み)		m3	13			D- 6号単価表
発生土処分料	指定A(愛川町田代受入地)	m3	13			
計						

C- 36号　　1式当たり　　単価表

管路埋戻

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
機械投入埋戻工（購入土）	ﾊﾞｯｸﾎｳ	m3	13			D- 4号単価表
計						

C- 37号　　1箇所当たり　　単価表

組立１号マンホール

人孔深3.091m（ＮＯ．00-00068）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
可とう継ぎ手(貼り付けﾀｲﾌﾟ)	塩ﾋﾞ管用 φ200	個	1			
削孔費 1号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	塩ﾋﾞ管 φ200	箇所				
計						

C- 38号　　1箇所当たり　　単価表

組立０号マンホール

人孔深2.58m （ＮＯ．26-21096）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
組立マンホール設置工	０号(内径750㎜)、楕円 2m超3m以下	箇所	1			D- 24号単価表
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-25,転落防止梯子付き	組	1			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	1			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ	25kg	袋	2			
調整ﾘﾝｸﾞ	600×150	個	1			
組立0号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	斜壁 60	個	1			
組立0号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	管取付壁 180	個	1			
組立0号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	底版	個	1			
底部工 （組立式）	組立０号マンホール	箇所	1			D- 25号単価表
可とう継ぎ手(貼り付けﾀｲﾌﾟ)	塩ﾋﾞ管用 φ150	個	1			
可とう継ぎ手(貼り付けﾀｲﾌﾟ)	塩ﾋﾞ管用 φ200	個	1			
計						

C- 39号　　1箇所当たり　　単価表

内副管

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
内副管取付工	段差1.0～1.5m未満、内径100～300mm	箇所	1			D- 26号単価表
計						

C- 40号　　1箇所当たり　　単価表

小型マンホール（塩化ビニル製）

人孔深さ2.23m37-2

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
小型マンホール工(塩化ビニル製)（起点、中間形式）	径300㎜ 深3.5m以下	箇所	1			D- 27号単価表
鋳鉄製防護蓋設置費		箇所	1			
海老名市型 防護蓋(φ300)	T-25,塩ﾋﾞ人孔用	組	1			
海老名市型 防護蓋(φ300)	台座,塩ﾋﾞ人孔用	個	1			
計						

C－　41号　　1㎥当たり　　単価表

タンパ締固め

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
タンパ締固め		㎥	1			施工P-01
計						

C- 41号単価表(施工P-01)　　積算単位:m³　　標準単価:

タンパ締固め

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K			1.11			
K1	ﾀﾝﾊﾟ及びﾗﾝﾏ賃料／質量 60～80kg	日	1.11			
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			97.20			
R1	特殊作業員	人	51.27			
R2	普通作業員	人	45.93			
R3						
R4						
R5						
材料Z			1.69			
Z1	ｶﾞｿﾘﾝ／ﾚｷﾞｭﾗｰ,ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	L	1.69			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ \left(\frac{1.11}{100} \times \frac{1.11}{1.11} \right) \times \frac{1.11}{1.11} + \left(\frac{51.27}{100} \times \frac{97.20}{51.27+45.93} + \frac{45.93}{100} \times \frac{97.20}{51.27+45.93} \right) \times \frac{97.20}{51.27+45.93} + \left(\frac{1.69}{100} \times \frac{1.69}{1.69} \right) \times \frac{1.69}{1.69} + \frac{100-1.11-97.20-1.69}{100} \right\} =$$

D-　1号　　1組当たり　　単価表

蓋(受枠とも)据付工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	0.08			
特殊作業員		人	0.08			
普通作業員		人	0.16			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)賃料	4.9ｔ吊	日				
諸雑費		式	1			
計						

D-　2号　　1組当たり　　単価表

蓋(受枠とも)撤去工

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	0.04			
特殊作業員		人	0.04			
普通作業員		人	0.08			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)賃料	4.9ｔ吊	日				
諸雑費		式	1			
計						

D-　3号　　100m3当たり　　単価表

機械掘削工（バックホウ）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	1.9			
普通作業員		人	5			
バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	hr	11.1			F-　1号運転費
諸雑費		式	1			
計						
１m3当たり						

D-　4号　　100m3当たり　　単価表

機械投入埋戻工（購入土）

ﾊﾞｯｸﾎｳ

名　称	規　格	単 位	数　量	単　価	金　額	摘　要
土木一般世話役		人	2.5			
普通作業員		人	3.8			
再生砂	RC-10	m3	126			
バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	hr	7.6			F-　2号運転費
タンパ締固め		m³	100			C-　41号単価表
諸雑費		式	1			
計						
1m3当たり						

D-　5号　　100m3当たり　　単価表

機械投入埋戻工（購入土）

ﾊﾞｯｸﾎｳ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	2.5			
普通作業員		人	3.8			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	m3	133			
バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	hr	7.6			F-　2号運転費
タンパ締固め		m^3	100			C-　41号単価表
諸雑費		式	1			
計						
1m3当たり						

D-　6号　　1m3当たり　　単価表

発生土処分工　(機械積込み)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土運搬工　(DIDあり)	L=15ｋｍ	m3	1			E-　1号単価表
計						

D-　7号　　1m3当たり　　単価表

路盤材処分工　(機械積込み)

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土運搬工　(DIDあり)	L=5ｋｍ	m3	1			E-　2号単価表
計						

D-　8号　　1m当たり　　単価表

硬質塩化ビニル管設置工

管径200㎜

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
硬質塩化ビニル管設置工	管径２００㎜	m	1			
計						

D-　9号　　1m3当たり　　単価表

砂基礎設置工（機械施工）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
砂基礎設置（機械施工）		m3	1			
再生砂	RC-10	m3	1.26			
計						

D-　10号　　100m当たり　　単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深 2.5m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	1.9			
特殊作業員		人	1.9			
普通作業員		人	5.7			
小型バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	日	1.6			F-　4号運転費
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

D- 11号　　100m当たり　　単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深 2.5m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	0.7			
特殊作業員		人	0.7			
普通作業員		人	2.1			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)賃料	4.9ｔ吊	日				
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

D-　12号　　100m当たり　　単価表

アルミ矢板建込工(両側分)

掘削深 3.0m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	2			
特殊作業員		人	2			
普通作業員		人	6			
バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	hr	12			F-　1号運転費
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

D- 13号　　100m当たり　　単価表

アルミ矢板引抜工(両側分)

掘削深 3.0m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	0.8			
特殊作業員		人	0.8			
普通作業員		人	2.4			
ﾄﾗｯｸｸﾚｰﾝ(油圧伸縮ｼﾞﾌﾞ型)賃料	4.9ｔ吊	日				
諸雑費		式	1			
計						
１ｍ当たり						

D- 14号　　100m当たり　　単価表

土留支保工(軽量金属支保工)

２段、掘削深3.5m以下、水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	2.2			
特殊作業員		人	2.2			
普通作業員		人	6.6			
諸雑費		式	1			
計						
１m当たり						

D- 15号　　1日当たり　　単価表

ポンプ運転工（作業時排水、発動発電機）

口径50㎜、揚程5ｍ×2台

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
特殊作業員		人	0.11			
普通作業員		人	0.05			
工事用水中モータポンプ(潜水ポンプ)	口径50㎜ 全揚程5m	運/日				
発動発電機 ｶﾞｿﾘﾝｴﾝｼﾞﾝ駆動		運/日				
諸雑費		式	1			
計						

D-　16号　　1現場当たり　　単価表

ポンプ据付・撤去工

口径50㎜、揚程5ｍ×1～2台

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
普通作業員		人	0.08			
計						

D- 17号　　100m3当たり　　単価表

機械掘削工（小型バックホウ）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	2.4			
普通作業員		人	6.7			
小型バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	日	2.273			F- 4号運転費
諸雑費		式	1			
計						
１m3当たり						

D- 18号　　100m3当たり　　単価表

機械投入埋戻工（購入土）

小型ﾊﾞｯｸﾎｳ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	2.5			
普通作業員		人	3.8			
再生砂	RC-10	m3	126			
小型バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	日	1.538			F- 5号運転費
タンパ締固め		m^3	100			C- 41号単価表
諸雑費		式	1			
計						
1m3当たり						

D- 19号　　100m3当たり　　単価表

機械投入埋戻工（購入土）

小型ﾊﾞｯｸﾎｳ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	2.5			
普通作業員		人	3.8			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	m3	133			
小型バックホウ運転費	排ｶﾞｽ対策型(2次基準)	日	1.538			F- 5号運転費
タンパ締固め		m^3	100			C- 41号単価表
諸雑費		式	1			
計						
1 m3当たり						

D-　20号　　1m3当たり　　単価表

発生土処分工　（機械積込み）

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土運搬工　（DIDあり）	L=15ｋｍ	m3	1			E-　7号単価表
計						

D- 21号　　1m3当たり　　単価表

発生土処分工 （機械積込み）

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
発生土運搬工 （DIDあり）	L=5ｋｍ	m3	1			E- 8号単価表
計						

D-　22号　　1箇所当たり　　単価表

ます設置工(塩化ビニル製)

ます(径200)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ます設置工(塩化ﾋﾞﾆﾙ製)	ます(径200)	箇所	1			
計						

D-　23号　　1箇所当たり　　単価表

取付管布設工及び支管取付工

管径150

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
取付管布設工および支管取付工	管径１５０	箇所	1			
計						

D-　24号　　1箇所当たり　　単価表

組立マンホール設置工

０号(内径750㎜)、楕円　2m超3m以下

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
組立ﾏﾝﾎｰﾙ設置工	0号(内径750㎜)、楕円　深2m超3m以下	箇所	1			
計						

D- 25号　　1箇所当たり　　単価表

底部工（組立式）

組立０号マンホール

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	m3	0.17			
コンクリート	構造物種別:小型構造物 打設工法:人力打設 ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:24-12-25(20)(高炉)	m³	0.109			施工P-01
	養生工の種類:一般養生 現場内小運搬の有無:無し					
モルタル上塗工（マンホール用）	（配合１：２）モルタル厚10～３０ｍｍ	m²	0.527			E- 4号単価表
計						

D- 25号単価表(施工P-01)　　積算単位:m^3　　標準単価:

コンクリート

構造物種別:小型構造物、打設工法:人力打設、ｺﾝｸﾘｰﾄ規格:24-12-25(20)(高炉)、養生工の種類:一般養生、現場内小運搬の有無:無し

	名称／規格	単位	構成比	単価(東京)	単価	摘要
機械K						
K1						
K2						
K3						
K4						
K5						
労務R			41.24			
R1	普通作業員	人	22.34			
R2	土木一般世話役	人	9.14			
R3	特殊作業員	人	7.74			
R4						
R5						
材料Z			58.76			
Z1	生ｺﾝｸﾘｰﾄ(高炉ｾﾒﾝﾄ)／18-8-25(20),W/C指定無し	m3	58.76			
Z2						
Z3						
Z4						
Z5						
市場S						

$$P' = \times \left\{ + \left(\frac{22.34}{100} \times \text{----------} + \frac{9.14}{100} \times \text{----------} + \frac{7.74}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{41.24}{22.34+9.14+7.74} + \left(\frac{58.76}{100} \times \text{----------} \right) \times \frac{58.76}{58.76} + \frac{100-41.24-58.76}{100} \right\} =$$

D- 26号　　1箇所当たり　　単価表

内副管取付工

段差1.0～1.5m未満、内径100～300mm

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	0.17			
特殊作業員		人	0.17			
普通作業員		人	0.17			
下水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 直管	VU管ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ φ150,L=4m	本	0.2			
貼り付け型内副管継手(012号ﾏﾝﾎｰﾙ用)	塩ﾋﾞ管・ﾋｭｰﾑ管用 200×150	個	1			
曲管 90° LL	φ150	個	1			
ｽﾃﾝﾚｽﾊﾞﾝﾄﾞ	φ150	個	2			
諸雑費		式	1			
計						

D-　27号　　1箇所当たり　　単価表

小型マンホール工(塩化ビニル製)（起点、中間形式）

径300㎜ 深3.5m以下

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
小型ﾏﾝﾎｰﾙ工(塩化ﾋﾞﾆﾙ製)（起点、中間形式）	径300㎜ 深2m超3.5m以下 本管径150㎜、200㎜	箇所	1			
計						

E-　1号　　10m3当たり　　単価表

発生土運搬工　(DIDあり)

L=15ｋｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ダンプトラック運転費		日	1.1			F-　3号運転費
計						
１m3当たり						

E-　2号　　10m3当たり　　単価表

発生土運搬工　(DIDあり)

L=5ｋｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ダンプトラック運転費		日	0.7			F-　3号運転費
計						
１m3当たり						

E-　3号　　100m当たり　　単価表

軽量金属支保工設置(切梁材)

２段、掘削深3.5m以下、水圧式ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
土木一般世話役		人	0.4			
特殊作業員		人	0.4			
普通作業員		人	1.2			
計						
１ｍ当たり						

E-　4号　　1㎡当たり　　単価表

モルタル上塗工（マンホール用）

（配合１：２）モルタル厚10～３０ｍｍ

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
左　官		人	0.33			
普通作業員		人	0.33			
ﾓﾙﾀﾙ練工	配合比 1:2	㎡	0.02			E-　5号単価表
諸雑費		式	1			
計						

E-　5号　　1㎡当たり　　単価表

ﾓﾙﾀﾙ練工

配合比 1:2

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
普通作業員		人	1.3			
ｾﾒﾝﾄ(高炉B)	25kg袋入	t	0.72			
ｺﾝｸﾘｰﾄ用骨材　砂	洗い　細目	m3	0.95			
諸雑費		式	1			
計						

E-　6号　　1㎡当たり　　単価表

モルタル練工

配合比 1:2

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
普通作業員		人	1.3			
計						

E-　7号　　10m3当たり　　単価表

発生土運搬工　(DIDあり)

L=15ｋｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ダンプトラック運転費		日	2.3			F-　6号運転費
計						
１m3当たり						

E-　8号　　10m3当たり　　単価表

発生土運搬工　(DIDあり)

L=5ｋｍ

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
ダンプトラック運転費		日	1.1			F-　6号運転費
計						
１m3当たり						

F-　1号　　1hr当たり　　運転費

バックホウ運転費

排ｶﾞｽ対策型(2次基準)

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
運転手(特殊)		人	0.17			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	5.9			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 標準型 排対型(2次基準)		hr				
計						

F-　2号　　1hr当たり　　運転費

バックホウ運転費

排ｶﾞｽ対策型(2次基準)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
運転手(特殊)		人	0.17			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	5.9			
ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 標準型 排対型(2次基準)		hr				
計						

F-　3号　　1日当たり　　運転費

ダンプトラック運転費

名　　称	規　　格	単 位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
運転手(一般)		人	1			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	31			
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ		供/日				
ﾀｲﾔ損耗費		供/日				
諸雑費		式	1			
計						

F-　4号　　1日当たり　　運転費

小型バックホウ運転費

排ｶﾞｽ対策型(2次基準)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
運転手(特殊)		人	1			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	23			
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 標準型 排対型(2次基準)		供/日				
諸雑費		式	1			
計						

F-　5号　　1日当たり　　運転費

小型バックホウ運転費

排ｶﾞｽ対策型(2次基準)

名　　称	規　　格	単　位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
運転手(特殊)		人	1			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	23			
小型ﾊﾞｯｸﾎｳ(ｸﾛｰﾗ型) 標準型 排対型(2次基準)		供/日				
諸雑費		式	1			
計						

F-　6号　　1日当たり　運転費

ダンプトラック運転費

名　称	規　格	単　位	数　量	単　価	金　額	摘　要
運転手(一般)		人	1			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	20			
ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ ｵﾝﾛｰﾄﾞ・ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ		供/日				
ﾀｲﾔ損耗費		供/日				
計						

市道364号線上下水道整備工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単位	数　量	単　価	金　額	備　　考
GPシモク	φ40	個	1			
GPシモク	φ50	個	4			
SUS直管	φ50	本	4			
その他雑材		式	1			
ケミカルアンカー		本	3			
スリースバルブ	φ50　埋設用	個	2			
ソケット	φ40	個	2			
ソケット	φ40　コア	個	1			
ソケット	φ50	個	10			
ネジ筐	φ50　道路用	個	1			
メーターバルブ	φ40	個	1			
メーターボックス	φ40	個	1			
メーター用波状管	φ40	本	2			

市道364号線上下水道整備工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単位	数　量	単　価	金　額	備　　考
中間用波状管	φ50	本	2			
分岐用波状管	φ50	本	1			
埋設明示シート	幅400　２倍	巻	0.5			
宅内筐	バルブ用	個	1			
絶縁型サドル付分水栓	φ100×50	個	1			
絶縁型袋ナット付短管	φ40	個	1			
絶縁型袋ナット付短管	φ50	個	4			
ｾﾒﾝﾄ(高炉B)	25kg袋入	t	0.008			
生ｺﾝｸﾘｰﾄ(高炉ｾﾒﾝﾄ)	18-8-25(20), W/C指定無し	m3	0.116			
ｺﾝｸﾘｰﾄ用骨材　砂	洗い　細目	m3	0.01			
再生粒度調整砕石	RM-40	m3	7.949			
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ	RC-40	m3	60.665			
再生砂	RC-10	m3	34.65			

市道364号線上下水道整備工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単位	数　量	単　価	金　額	備　　考
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	再生密粒度ｱｽｺﾝ(13)	t	16.374			
再生ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物	再生粗粒度ｱｽｺﾝ(20)	t	3.775			
下水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管 直管	VU管ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ φ150, L=4m	本	0.2			
調整ﾘﾝｸﾞ	600×150	個	1			
海老名市型 人孔鉄蓋(φ600)	汚水 T-25, 転落防止梯子付き	組	2			
海老名市型 防護蓋(φ300)	T-25, 塩ﾋﾞ人孔用	組	1			
海老名市型 防護蓋(φ300)	台座, 塩ﾋﾞ人孔用	個	1			
無収縮ﾓﾙﾀﾙ	25kg	袋	2.6			
受枠変形防止材(3ｾｯﾄ1組)		組	2			
曲管 90° LL	φ150	個	1			
ｽﾃﾝﾚｽﾊﾞﾝﾄﾞ	φ150	個	2			
貼り付け型内副管継手(012号ﾏﾝﾎｰﾙ用)	塩ﾋﾞ管・ﾋｭｰﾑ管用 200×150	個	1			
組立0号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	斜壁 60	個	1			

市道364号線上下水道整備工事　　材料費(30)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単位	数　量	単　価	金　額	備　　考
組立0号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	管取付壁 180	個	1			
組立0号ﾏﾝﾎｰﾙ 1種 5m以下	底版	個	1			
可とう継ぎ手(貼り付けﾀｲﾌﾟ)	塩ﾋﾞ管用 φ150	個	1			
可とう継ぎ手(貼り付けﾀｲﾌﾟ)	塩ﾋﾞ管用 φ200	個	2			
ｶﾞｿﾘﾝ	ﾚｷﾞｭﾗｰ, ｽﾀﾝﾄﾞ渡し	L	27.447			
軽 油	ﾊﾟﾄﾛｰﾙ給油	L	433.405			
ｱｽﾌｧﾙﾄ乳剤	PK-3 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ用	L	163.91			
ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀ(ﾌﾞﾚｰﾄﾞ)	径18ｲﾝﾁ	枚	0.279			
材料費計						

市道364号線上下水道整備工事　　材料費(37)　　材料調書全体明細表

(単位:円)

名　　称	規　　格	単位	数　量	単　価	金　額	備　　考
発生土処分料	指定A(愛川町田代受入地)	m3	69			
廃材処理料(北部地区)	ＡＳ殻	m3	8			
廃材処理料(北部地区)	無筋Ｃｏ殻	m3	0.01			
廃材処理料(北部地区)	路盤材(上層・下層)	m3	13.8			
舗装版切断濁水処分費(北部地区)	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版	m3	0.132			
材料費計						

数 量 総 括 表 (1／5)

上段:当初数量
下段:変更数量

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工種	ﾚﾍﾞﾙ3 種別	ﾚﾍﾞﾙ4 細別	ﾚﾍﾞﾙ5 規格	単位	数 量	備 考
下水道	管渠工 管径200mm	管路土工					
			掘削	BH 0.28m3	m3	53	
			路盤掘削	BH 0.28m3	m3	13	
			砂(RC-10)埋戻	BH 0.28m3	m3	12	
			砕石(RC-40)埋戻	BH 0.28m3	m3	36	
			発生土処理工		m3	53	
			路盤材処理工		m3	13	
		管布設工					
			管体延長	VUφ200	m	25	
			基礎工	砂基礎(VUφ200)	m3	2	
			硬質塩化ビニル管	φ200×4000	本	7	
			自在曲管	φ200, 5°	本		
		管路土留工(昼間					
			アルミ矢板土留 建込・引抜				
			〃	掘削深H=2.5m	m	11	
			〃	掘削深H=3.0m	m	17	
			支保工	1段	m		
			〃	2段	m	28	
		仮設材賃料					
			アルミ矢板土留 賃料等	H=2.0m	枚・日		
			〃	H=2.5m	枚・日	181	
			〃	H=3.0m	枚・日	253	
			〃	アルミ腹起し材賃料	式	1	
			〃	水圧パイプサポート賃料	式	1	
			〃	水圧手動ポンプ賃料	式	1	

数 量 総 括 表 （2／5）

上段:当初数量
下段:変更数量

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工種	ﾚﾍﾞﾙ3 種別	ﾚﾍﾞﾙ4 細別	ﾚﾍﾞﾙ5 規格	単位	数 量	備 考
		開削水替					
			ポンプ据付・撤去工	口径50㎜、揚程5m ×1～2台	現場	1	
			ポンプ運転工（作業時排水、発動発電機）	口径50㎜、揚程5m ×2台	日	5	
	マンホール工						
		組立1号人孔工					
			削孔	φ200	箇所	1	
			可とう継手	φ200	箇所	1	
		組立0号人孔工					
			ブロック据付	H≦2.0m	箇所	1	
			人孔鉄蓋	標準鉄蓋 （市型）T-25	組	1	
			調整無収縮モルタル	5kg/cm （25kg/袋）	袋	2	
			調整リング	H=150mm	個	1	
			斜壁ブロック	H=600mm	個	1	
			躯体ブロック	H=1800mm	個	1	
			底版ブロック	H=130mm	個	1	
			削孔	φ150	箇所	1	
			人孔底部工	流出φ200	箇所	1	
			砕石基礎工	RC-40	m^2/ 箇所	0.700	
			ｲﾝﾊﾞｰﾄｺﾝｸﾘｰﾄ工	18N/mm2	m^3/ 箇所	0.100	
			モルタル上塗り工	配合1:2 厚さ2cm	m^2/ 箇所	0.52	
			可とう継手	φ200	箇所	1	
		副管工					
			内副管	φ200-Φ150	箇所	1	
		小型塩ビマンホール工					
			小型マンホール(塩ビ製)	起点および中間形式 ﾏﾝﾎｰﾙ深2.23m	箇所	1	
			防護蓋(内蓋，台座含む)	T-25	組	1	

数 量 総 括 表 (3／5)

上段:当初数量
下段:変更数量

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工種	ﾚﾍﾞﾙ3 種別	ﾚﾍﾞﾙ4 細別	ﾚﾍﾞﾙ5 規格	単位	数 量	備 考
	人孔鉄蓋交換工						
		人孔鉄蓋交換工					
			標準鉄蓋		箇所	1	
	取付管及び ます工						
		管路土工					
			地山掘削	BH 0.13m3	m3	3	
			路盤掘削	BH 0.13m3	m3	0.4	
			砂(RC-10)埋戻	機械	m3	0.5	
			砕石(RC-40)埋戻	機械	m3	2	
			発生土処理工		m3	3	
			路盤材処理工		m3	0.4	
		汚水ます設置工					
			汚水桝塩ビ製	φ200 h=2.58 ﾄﾞﾛｯﾌﾟます	箇所	1	
		取付管布設工					
			取付管布設 (塩ビ管取付け)	φ150VU 3～5m未満	箇所		
			取付管布設 (人孔付け)	φ150VU 3～5m未満	箇所	1	
	付帯工						
		仮復旧工					
		舗装撤去工	舗装版切断工	t=15cm以下	m	102	
			切断濁水処理	t=5cm	m	102	
			舗装版取壊	t=15cm	m2	39	
			ASガラ運搬工・処理		m3	2	
			仮復旧下層路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ (RC-40)t=20cm	m2	39	
			仮復旧上層路盤工	再生粒調砕石 (RM-40)t=16cm	m2	39	
			仮復旧表層工	再生粗粒度As t=4cm	m2	39	

数 量 総 括 表 （4／5）

上段:当初数量
下段:変更数量

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工種	ﾚﾍﾞﾙ3 種別	ﾚﾍﾞﾙ4 細別	ﾚﾍﾞﾙ5 規格	単位	数 量	備 考
		本復旧工					
			舗装版切断工	t=15cm以下	m	13	
			切断濁水処理	t=5cm	m	13	
			舗装版取壊	t=5cm	m	130	
			ASガラ運搬工・処理		m3	6	
			路盤掘削工		m3	0.4	
			路盤ガラ運搬工・処理		m3	0.4	
			表層工	再生密粒度 ﾌﾟﾀｲﾑ t=5cm以下	m2	130	
			不陸整正		m2	130	
		仮設工					
			交通誘導員B	管布設及び舗装復旧	式	1	
上水道							
	給水取出工						
		土工					
			掘削工		m3	13	
			発生土処分工		m3	13	
		給水取出工					
			給水取出工		箇所	1	
			給水管布設工		m	23	
			スリースバルブ設置		箇所	2	
			メーター廻り配管		箇所	1	
			明示シート敷設		m	23	

数 量 総 括 表 （5／5）

上段:当初数量
下段:変更数量

ﾚﾍﾞﾙ1 工事区分	ﾚﾍﾞﾙ2 工種	ﾚﾍﾞﾙ3 種別	ﾚﾍﾞﾙ4 細別	ﾚﾍﾞﾙ5 規格	単位	数 量	備 考
		埋戻工					
			埋戻工		m3	13	
		仮設工					
			交通誘導員		式	1	
		材料					
			材料		式	1	

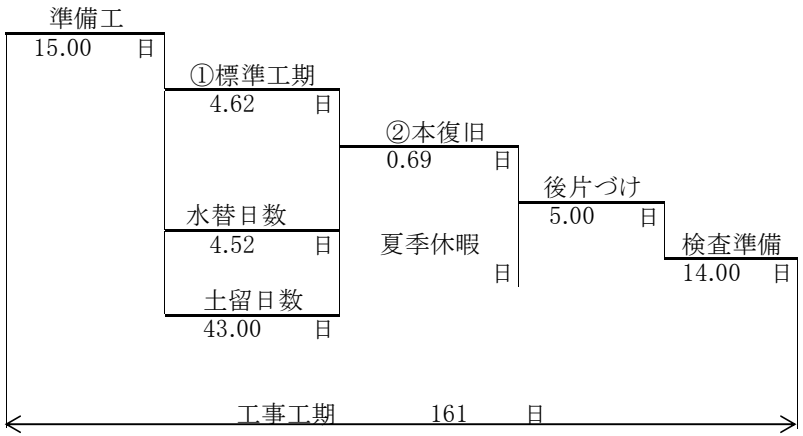
海 老 名 市

施　工　日　数　の　計　算

施工条件					施工実日数	
軽量鋼矢板	VUφ 200 ㎜ 施工延長	L= 26.50 m (新設)	掘削幅	1.00 m		
軽量金属支保	h= 2.5・3.0 m	L= m		m		
	2 段	L= m		m		
		L= m		m		

舗装版切断工	13.00 m	÷ 230 m / 日	0.10 日	① 4.62 日
開削工	26.50 m × 29.00 日	÷ 100 m	7.69 日	
As 舗装工	130.50 m^2	÷ 250.0 m^2 / 日・層	0.94 日	② 0.69 日
舗装版破砕工 (掘削・積み込み作業	130.50 m^2	÷ 750.0 m^2 / 日・層	0.31 日	
区画線			日	
水替え工	7.69 日	÷ 1.7	4.52 日	
準備日数			15.00 日	
後片づけ			5.00 日	
年末年始休暇			6.00 日	
検査準備			14.00 日	
調整日数			日	

工　程　表



・交通誘導員
昼間 : 6.00 日

交通誘導員B 6.00 日 × 3.0 人 = 18 人

・工事工期

準備工	: 15	日
標準工期・本復旧	: 10	日
後片づけ	: 5	日
検査準備	: 14	日
夏季休暇	:	日
年末年始休暇	: 6	日
調整日数	: 111	日

管布設工数量集計表

内径φ200VU管

当初

路線延長	全　　体	26.50 m	掘削工	バックホウ	山積0.28m3　53.17 m^3
	φ　200　VU	26.50 m		バックホウ	山積0.45m3　m^3
	φ	m	残　土　量		53.17 m^3
管体延長	全　　体	25.37 m	埋戻工	RC-10（ﾊﾞｯｸﾎｳ）	φ200VU　12.69 m^3 m^3　全体　12.69 m^3
	φ　200　VU	25.37 m		RC-40（ﾊﾞｯｸﾎｳ）	φ200VU　36.84 m^3 m^3　全体　36.84 m^3
	φ				m^3
基礎工	砂　基　礎	φ200VU　2.52 m^3 m^3　全体　2.52 m^3	山留工（アルミ矢板）	L ＝ 2.00 m	m
	基礎延長	φ200VU　25.21 m m　全体　25.21 m		L ＝ 2.50 m	11.00 m
				L ＝ 3.00 m	17.30 m
管材	硬質塩化ビニル管 φ　200　VU	7　本		L ＝ 3.50 m	m
	曲管φ200 変換継手Φ200(個)	5°　本　15°　本　30°　本 ＶＵ受口リブ差口　個　リブ受口ＶＵ差口　個		L ＝ 4.00 m	m
	ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 上流用	1　個	支保工（金属）	1　段	m
	ﾏﾝﾎｰﾙ用可とう継手 下流用	1　個		2　段	28.30 m
	副管用ﾏﾝﾎｰﾙ継手 L=1.0m	本		3　段	m

海　老　名　市

管布設・土工数量計算表

管 径 φ 200 VU

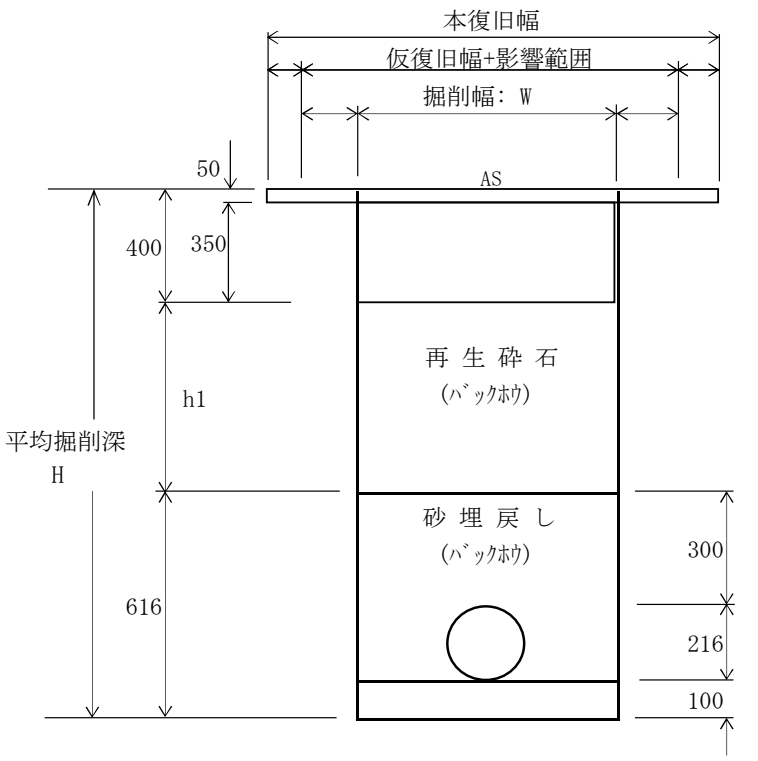
当初

人孔番号 路線番号	スパン延長 L	人孔減長	管体延長	基礎減長	基礎延長 L'	掘削深 上流 下流	掘削深 平均 H	掘削幅 W	舗装構成	掘削土量 バックホウ 0.28m³	掘削土量 バックホウ 0.45m³	埋戻し土量 RC-40 バックホウ	埋戻し土量 RC-10 バックホウ	埋戻し土量 砂基礎	残土量
	m	m	m	m	m	m	m	m		m³	m³	m³	m³	m³	m³
37-1 ～ 37-2 37	15.50	0.53	14.97	0.08	14.89	2.68 2.33	2.51	1.00	4号復旧	32.71		23.16	7.42	1.49	32.71
37-2 ～ 既設 37	11.00	0.60	10.40	0.08	10.32	2.33 2.19	2.26	1.00	4号復旧	20.46		13.68	5.27	1.03	20.46
合計	26.50	1.13	25.37	0.16	25.21					53.17		36.84	12.69	2.52	53.17

海 老 名 市

土 工 数 量 計 算 書　　φ200VU　4号復旧（L交通）　　As舗装

当初

詳　　細　　図	数　　量　　計　　算
 VUφ200 管控除分　0.216 ^{2}　π/4=　0.037　m^2	延　長　：L 平均掘削深　：H ① 掘削土量　：　W　×（　H　－ 0.400 ）　× L ② RC-40埋戻し（ﾊﾞｯｸﾎｳ＋ﾀﾝﾊﾟ） ：　W　×　{　H　－（　0.400 ＋ 0.616)} × L ③ RC-10埋戻し（ﾊﾞｯｸﾎｳ＋ﾀﾝﾊﾟ） （　W　× 0.516 －　0.037 ）　× L 基礎延長　：L’ ④ 砂基礎　：（　W　× 0.100 ）　× L’

海　老　名　市

VU　φ200mm

管　渠　数　量　計　算　書

当初

路線番号	人孔番号	管径 (mm)	人孔間延長 (m)	人孔による減長 (m)	管渠延長 (m)	管数量 ゴム輪受口片受け直管 控除(m)	ゴム輪受口片受け直管 L=4.0m延長(m)	ゴム輪受口片受け直管 本	マンホール用可とう継手(上流) 個	マンホール用可とう継手(下流) 個	副管用マンホール継手 L=1.0m本	VU直管控除長 (m)	曲管部材布設延長(軸中心) (m)	曲管部材砂基礎 (m3)	曲管φ200 5° 本	曲管φ200 15° 本	曲管φ200 30° 本	変換継手Φ200(個) VU受口リ	変換継手Φ200(個) リブ受口V	備考
37	37-1 37-2	200	15.50	0.53	14.97		14.97	4	1											
37	37-2 既設	200	11.00	0.60	10.40		10.40	3		1										
合　計								7	1	1										

海　老　名　市

山留工 矢板設置手間 数量計算書

路線番号	人孔番号	スパン延長	平均掘削深	H=2.0m以下	H=2.5m以下	H=3.0m以下	H=3.5m以下	H=4.0m以下	備考
	No ～ No	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	
37	37-1 ～ 37-2	15.50	2.51			15.50			
37	37-2 ～ 既設	11.00	2.26		11.00				
	公桝 37-1	1.80	2.69			1.80			深さは汚水桝計算書を参照
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
合計		28.30			11.00	17.30			

山留工 矢板 数量計算書 （φ 200 VU ）

路線番号	人孔番号	スパン 延長	平均 掘削深 矢板長	掘削深（賃料集計） 1.8m以下 H=2.0m	2.3m以下 H=2.5m	2.8m以下 H=3.0m	3.3m以下 H=3.5m	3.8m以下 H=4.0m	掘削深（支保工段数） 2.0m以下 1段	3.5m以下 2段	3.8m以下 3段
	No ～ No	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)	(m)
37	37-1 ～ 37-2	15.50	2.51			15.50				15.50	
37	37-2 ～ 既設	11.00	2.26		11.00					11.00	
	公桝 ～ 37-1	1.80	2.69			1.80				1.80	
	～										
	～										
	～										
	～										
	～										
	～										
	～										
	～										
	～										
合計		28.30			11.00	17.30				28.30	

海 老 名 市

アルミ矢板損料計算書

※山留工矢板数量計算書参照

矢板長　L＝ 2.00 m	矢板長　L＝ 2.50 m
総締切延長　L＝ m	総締切延長　L＝ 11.00 m
１回当たり締切延長　L＝ 6.00 m	１回当たり締切延長　L＝ 6.00 m
現場搬入出を含めた供用日数	現場搬入出を含めた供用日数
総締切延長×100m当たりの供用日数＋現場搬入出日数	総締切延長×100m当たりの供用日数＋現場搬入出日数
m× 29 日／100m ＋ 2 日 ＝ 2.0 日	11.00 m× 29 日／100m ＋ 2 日 ＝ 5.0 日
１回当たりの使用総重量	１回締切延長当たりの使用総重量
0.0101 t／枚 × 同一材料１回使用枚数	6.0 m ÷ 0.333 m/枚 × 2 側 ＝ 36 枚 0.0126 t／枚 × 36 ＝ 0.454 t
0.0101 t／枚 × 6.00 m／ 0.333 m/枚 × 2 側	
＝ 0.363 t	
１現場における転用回数	１現場における転用回数
総締切延長÷１回当たりの締切延長	総締切延長÷１回当たりの締切延長
m ÷ 6.00 m ＝ 回	11.00 m ÷ 6.00 m ＝ 1.8 回
賃料日数	賃料日数
6.00 m÷ 0.333 m × 2 枚 × 2.0 日 ＝ 枚・日	（両側） 6.00 m÷ 0.333 m × 2 枚 × 5.0 日 ＝ 181 枚・日

海 老 名 市

アルミ矢板損料計算書

矢板長　　L＝　3.00　m	矢板長　　L＝　3.50　m
総締切延長　　L＝　17.30　m	総締切延長　　L＝　　m
１回当たり締切延長　　L＝　6.00　m	１回当たり締切延長　　L＝　6.00　m
現場搬入出を含めた供用日数	現場搬入出を含めた供用日数
総締切延長×100m当たりの供用日数＋現場搬入出日数	総締切延長×100m当たりの供用日数＋現場搬入出日数
17.30　m×　29 日／100m ＋ 2 日　＝　7.0　日	m×　29 日／100m ＋ 2 日　＝　　日
１現場当たりの使用総重量	１現場当たりの使用総重量
0.0151　t／m ×　同一材料１回使用総延長	0.0177　t／m ×　同一材料１回使用総延長
0.0151　t／枚 ×　6.00　m／ 0.333　m/枚 ×　2　側	0.0177　t／枚 ×　6.00　m／ 0.333　m/枚 ×　2　側
＝　0.544　t	＝　0.637　t
１現場における転用回数	１現場における転用回数
総締切延長÷１回当たりの締切延長	総締切延長÷１回当たりの締切延長
17.30　m　÷　6.00　m　＝　2.9　回	m　÷　6.00　m　＝　　回
賃料日数	賃料日数
6.00　m÷　0.333 m　×　2 枚　×　7.0　日　＝　253　枚・日	6.00　m÷　0.333　m ×　2 枚　×　　日　＝　　枚・日

海　老　名　市

軽量金属支保材損料計算書

		１段梁の換算値	
１段支保延長　Ｌ＝　　m	１回当り締切延長　Ｌ＝　　m	１回締切延長 × 1 m× 1 ＝　　m	最大支保使用段数及び延長
２段支保延長　Ｌ＝　28.30 m	１回当り締切延長　Ｌ＝　6.00 m	１回締切延長 × ２ 6.00 m×２ ＝　12.00 m	Ｎ＝　２　段
３段支保延長　Ｌ＝　　m	１回当り締切延長　Ｌ＝　　m	１回締切延長 × ３ m×３ ＝　　m	Ｌ＝　12.00 m

１現場当たりの最大使用本数の計算（基本料）

		最大支保延長						最大支保段数					
アルミ腹起し	(t=110mm,L=4.00m)	12.00 m	÷	4.00	×	2	×	2 段		＝	12.0	本	
		最大支保延長						最大支保段数					
水圧サポート	(W=0.80～1.40m)	12.00 m	÷	4.00	×	2	×	2 段		＝	12.0	本	
水圧手動ポンプ	(ﾀﾝｸ容量15ι)									＝	1.0	台	

※ 基本料については、各支保段数のうち、１現場での１回締切り最大のものを計上する。

海　老　名　市

土留材賃貸料金・重量計算書（アルミ矢板2.5m）

矢板長　L＝ 2.50 m

総締切延長　L＝ 12.0 m　（＝ 6.0 m× 2.0 面　＝ 12 m）

アルミ矢板使用枚数　N≒ 36.0 枚　（＝ 12.0 ÷ 0.333　＝ 36.0 ）

供用日数　N＝ 5.0 日

１現場当たりの使用総重量（ｔ）

矢板1枚当たりの重量(t)(L=2.5m) × 矢板使用枚数(枚)

0.0126 × 36.0 ＝ 0.454 t

① アルミ矢板賃貸料（円）

積算資料　建設物価

矢板1枚当たりの賃貸料(円× 矢板使用枚数(枚× 供用日数　円　円　平均　円

× 36.0 × 5.0 ＝ 円

※建設物価・積算資料の平均価格

② アルミ矢板基本料（円）

積算資料　建設物価

矢板1枚当たりの基本料(円× 矢板使用枚数(枚)　円　円　平均　円

× 36.0 ＝ 円

※建設物価・積算資料の平均価格

③ アルミ矢板整備費（円）

見積

矢板1枚当たりの基本料(円× 矢板使用枚数(枚)　円

× 36.0 ＝ 円

※建設物価・積算資料の平均価格

④ 合計（円）

アルミ矢板賃貸料（円） ＋ アルミ矢板基本料（円） ＋ アルミ矢板整備費（円）

＋ ＋ ＝ 円

土留材賃貸料金・重量計算書（アルミ矢板3.0m）

矢板長　L＝ 3.00 m

総締切延長　L＝ 12.0 m　（＝ 6.0 m× 2.0 面　＝ 12 m）

アルミ矢板使用枚数　N≒ 36.0 枚　（＝ 12.0 ÷ 0.333　＝ 36.0 ）

供用日数　N＝ 7.0 日

１現場当たりの使用総重量（ｔ）

矢板1枚当たりの重量(t)(L=3.0m) × 矢板使用枚数(枚)

0.0151 × 36.0 ＝ 0.544 t

① アルミ矢板賃貸料（円）

積算資料 建設物価

矢板1枚当たりの賃貸料(円× 矢板使用枚数(枚× 供用日数　円 円 平均 円

× 36.0 × 7.0 ＝ 円

※建設物価・積算資料の平均価格

② アルミ矢板基本料（円）

積算資料 建設物価

矢板1枚当たりの基本料(円× 矢板使用枚数(枚)　円 円 平均 円

× 36.0 ＝ 円

※建設物価・積算資料の平均価格

③ アルミ矢板整備費（円）

見積

矢板1枚当たりの基本料(円× 矢板使用枚数(枚)　円

× 36.0 ＝ 円

※建設物価・積算資料の平均価格

④ 合計（円）

アルミ矢板賃貸料（円） ＋ アルミ矢板基本料（円） ＋ アルミ矢板整備費（円）

＋ ＝ 円

仮 設 材 運 搬 重 量 集 計 表

種　　別	矢 板 長	建込状況	計　　算　　式	単 位	数　量	備　　考
ア ル ミ 矢 板	L＝ 2.00 m	%	0.01010 t/枚 × 6 / 0.333 × 2 側	t		
（搬入搬出時）	L＝ 2.50 m	100 %	0.01260 t/枚 × 6 / 0.333 × 2 側	t	0.454	
	L＝ 3.00 m	100 %	0.01510 t/枚 × 6 / 0.333 × 2 側	t	0.544	
	L＝ 3.50 m	%		t		
	L＝ 4.00 m	%		t		
				計	0.998	
				合計	0.998	
運搬使用車両			トラック　2 t　1 台			

海 老 名 市

軽量金属支保材損料計算式

供用日数：１段　　m × 29 ／ 100 ＋ 2 日 =　　供用日数合計 ： 12.0 日
２段　28.30 m × 29 ／ 100 ＋ 4 日 = 12.0
３段　　m × 29 ／ 100 ＋ 2 日 =

１．アルミ腹起こし材賃料（円）　（賃料 ＊ 供用日数 ＋ 整備料）× １回1段当たり使用本数（本）× 使用段数

設置段数：
賃貸価格：　(円)
整備料　(円)
使用本数：１回当たり使用本数（本）

段	2	段	段
円		円	円
円		円	円
本	3	本	本
日	12.0	日	日
円		円	円

合計：　－ 円

２．水圧ﾊﾟｲﾌﾟｻﾎﾟｰﾄ賃料（円）　（賃料 ＊ 供用日数 ＋ 整備料）× １回1段当たり使用本数（本）× 使用段数

設置段数：
賃貸価格：　(円)
整備料　(円)
使用本数：１回当たり使用本数（本）

段	2	段	段
円		円	円
円		円	円
本	3	本	本
日	12.0	日	日
円		円	円

合計：　－ 円

３．水圧手動ポンプ賃料（円）　（賃料 ＊ 供用日数 ） ＋ 整備料

供用合計日数：　12.0　(日)
賃貸価格：　(円)
整備料　(円)

円
円
円

合計：　－ 円

1 号組立マンホール設置工

当初

箇　所　数			箇所	直壁ブロック	H＝ 1500 mm		個
ブロック据付	～ 3 m		箇所		H＝ 1800 mm		個
	3 ～ 4 m		箇所	躯体ブロック	H＝ 600 mm		個
	4 ～ 5 m		箇所		H＝ 900 mm		個
人　孔　鉄　蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14	組		H＝ 1200 mm		個
		T-25	組		H＝ 1500 mm		個
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14	組				
		T-25	組		H＝ 1800 mm		個
	調整無収縮 モルタル	5kg/cm	ｋｇ⇒ 袋				
調整リング	H＝ 50 mm		個				
	H＝ 100 mm		個	底　　版	H＝ 130 mm		個
	H＝ 150 mm		個	流入管削孔	φ 150 VU		箇所
斜壁ブロック	H＝ 300 mm		個		φ 200 VU (2号人孔)		箇所
					φ 200 VU (1号人孔)	1	箇所
	H＝ 450 mm		個		φ 200 VP		箇所
	H＝ 600 mm		個	人孔底部工	標　準　流出φ200		箇所
直壁ブロック	H＝ 300 mm		個		ﾓﾙﾀﾙ上塗り　1箇所当り		㎡
					ｺﾝｸﾘｰﾄ(18-8-25 (20) BB)		m3
	H＝ 600 mm		個		基礎砕石(RC-40 t=20cm)		㎡
	H＝ 900 mm		個	人孔底部工 既存人孔	標　準　流出φ200		箇所
					ﾓﾙﾀﾙ上塗り　1箇所当り		㎡
	H＝ 1200 mm		個		ｺﾝｸﾘｰﾄ(18-8-25 (20) BB)		m3
					基礎砕石(RC-40 t=20cm)	－	㎡
				可とう継手	φ 200 VU (1号人孔)	1	箇所

海　老　名　市

１号組立マンホール材料表

当初

路線番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	ﾏﾝﾎｰﾙ深さ m	底版 個	躯体ブロック					直壁ブロック						斜壁ﾌﾞﾛｯｸ			調整リング			調整高 mm	人孔蓋		削孔			底部工 箇所	継手	副管
				60個	90個	120個	150個	180個	30個	60個	90個	120個	150個	180個	30個	45個	60個	50個	100個	150個		T14組	T25組	150箇所	200箇所	300箇所		個	H
37	既設	3.091																							1			1	1.00
計																									1			1	1.00

海　老　名　市

0 号組立マンホール設置工

当初

箇　所　数			1　箇所	直壁ブロック	H＝　1500　mm		個
ブロック据付	～　2　m		1　箇所		H＝　1800　mm		個
	2　～　3　m		箇所	躯体ブロック	H＝　600　mm		個
	3　～　5　m		箇所		H＝　900　mm		個
人　孔　鉄　蓋	海老名市型 標準鉄蓋	T-14	組		H＝　1200　mm		個
		T-25	組				
	海老名市型 転落防止梯子付	T-14	組		H＝　1500　mm		個
		T-25	1　組				
	調整無収縮 モルタル	5kg/cm	45　ｋｇ⇒ 2　袋		H＝　1800　mm	1	個
調整リング	H＝　50　mm		個				
	H＝　100　mm		個	底　　版	H＝　130　mm	1	個
	H＝　150　mm		1　個	流入管削孔	φ　150　VU		箇所
斜壁ブロック	H＝　300　mm		個		φ　200　VU　(0号人孔)	1	箇所
	H＝　450　mm		個		φ　200　VP		箇所
	H＝　600　mm		1　個	人孔底部工	標　準　流出φ200	1	箇所
直壁ブロック	H＝　300　mm		個		ﾓﾙﾀﾙ上塗り　1箇所当り	0.527	㎡
					ｺﾝｸﾘｰﾄ(18-8-25 (20) BB)	0.109	m3
					基礎砕石(RC-40　t=20cm)	0.709	㎡
	H＝　600　mm		個		標　準　流出φ300		箇所
					ﾓﾙﾀﾙ上塗り　1箇所当り		㎡
					ｺﾝｸﾘｰﾄ(18-8-25 (20) BB)		m3
	H＝　900　mm		個		基礎砕石(RC-40　t=20cm)		㎡
	H＝　1200　mm		個	可とう継手	φ　200　VU　(0号人孔)	1	箇所

海　老　名　市

0号組立マンホール材料表

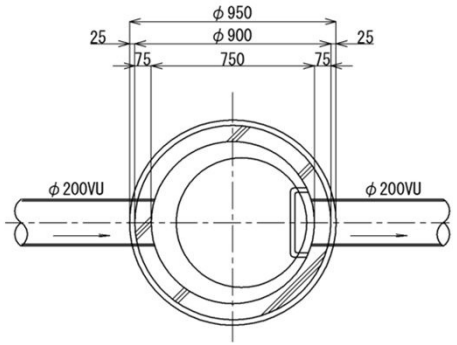
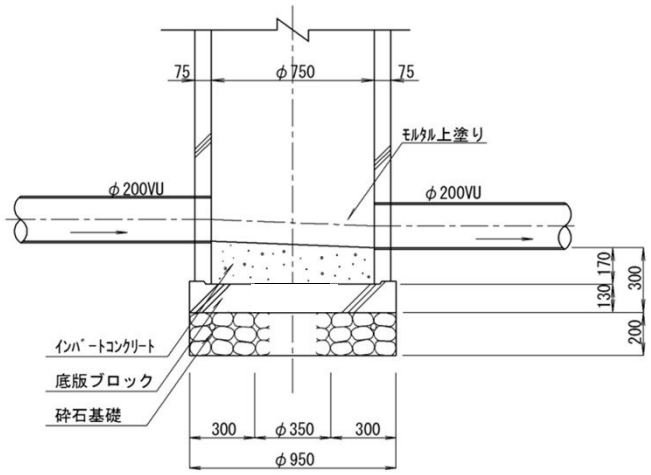
当初

路線番号	ﾏﾝﾎｰﾙ番号	ﾏﾝﾎｰﾙ深さ m	底版 個	躯体ブロック					直壁ブロック						斜壁ﾌﾞﾛｯｸ			調整リング			調整高 mm	人孔蓋		削孔			底部工 箇所	継手 副管	
				60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	60 個	90 個	120 個	150 個	180 個	30 個	45 個	60 個	50 個	100 個	150 個		T14 組	T25 組	150 箇所	200 箇所	300 箇所		個	H
37	37-1	2.580	1					1									1			1	90		1		1		1	1	
計			1					1									1			1	90		1		1		1	1	

海 老 名 市

0号組立マンホール底部工数量計算書(本管径φ200)

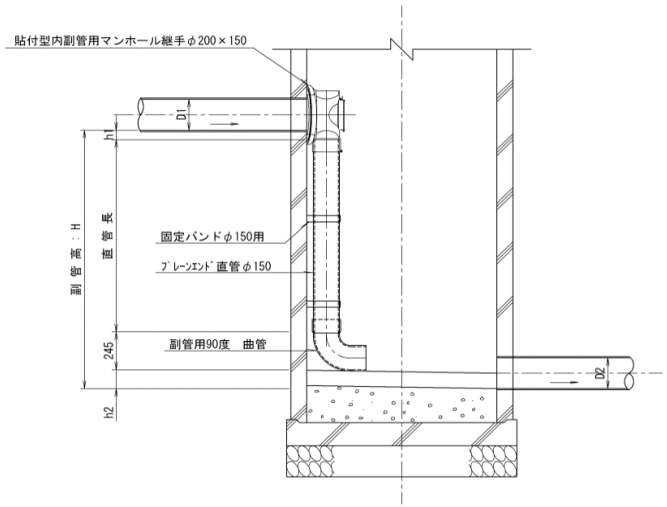
(1箇所当り)

略　　図	種　目	形状寸法	計　　算　　式	数　量
	砕石基礎工	RC-40 t=20cm	π/4 × 0.950 ^{2} = 0.709	0.709 m^2/箇所
	インバートコンクリート工	18N/mm^2	π/4 × 0.750 ^{2} × (0.170 + 0.200/2 + 0.008/2) − π/4 × 0.200 ^{2} × 0.750 × 1/2 + π/4 × ^{2} × = 0.109	0.109 m^3/箇所
	モルタル上塗工	配合 1:2 厚さ 2cm	π/4 × 0.750 ^{2} + π × 0.200 × 1/2 × 0.750 − 0.200 × 0.750 = 0.527	0.527 m^2/箇所

海 老 名 市

副管取付工数量計算書(内副管)　　600㎜以下は副管無し　　(1箇所当り)

副管タイプ	取付管 管種	取付管 管径	副管 管種	副管 管径	平均副管高	箇所数
		(mm)		(mm)	(m)	(箇所)
標準	VU	200	VU	150	1.000	1



固定ﾊﾞﾝﾄﾞ設置組数

落　差（ｍ）	固定ﾊﾞﾝﾄﾞ（組）
0.6～1.0	1
1.0～2.3	2
2.3～3.8	3
3.8～5.3	4

種　目	形状寸法	計　算　式	数　量
平均副管高		(　1.000　+　　)　/　1　箇所　＝　1.000	1.000　m/箇所
内副管用可とう継手	φ200-φ150	(省ｽﾍﾟｰｽ型)	1　個/箇所
		H　　h1　　h2　　曲管	
ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管	φ200	1.000　－　(　0.230　+　0.200/2　+　0.245　)　＝　0.425	0.425　m/箇所 0.2　本
固定バンド	φ150用	ケミカルアンカー取付	2　個/箇所
90度曲管	φ200用		1　個/箇所

海老名市

塩ビ製小型マンホール計算書

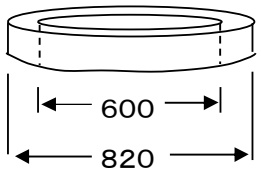
人孔番号	人孔深	市場単価適用		市場単価適用外	立上り部控除高		立上り部高さ	インバート種類別個数												人孔蓋部材料					異径継手	支管
		2.0m以下	2.0m～3.5m	3.5m以下	ｲﾝﾊﾞｰﾄ部	地盤面～天端		起点	マルチインバート		中間点		屈曲点						防護蓋+台座		内蓋	マルチインバート用支管			
											ｽﾄﾚｰﾄ	落差付	90°	75°	60°	45°	30°	15°				300-200	300-150	100-300	90度 300-200
	H				h1	h2	L =H-h1-h2		(市場単価適用外)										(t-25)	(t-14)					
	(m)				(m)	(m)	(m)	(個)	サイズ	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)	(組)	(組)	(個)	(個)	(個)	(個)	(個)
37-2	2.230		1		0.420	0.150	1.660				1								1		1				
合　計			1				1.66				1								1		1				

既設人孔マンホール蓋交換数量集計表

10箇所当り

モルタル取壊し高・調整モルタル高　4cm　× 10箇所　=　40cm

1 ｺﾝｸﾘｰﾄ構造物取壊し



モルタル　$(0.41^2\pi - 0.3^2\pi) = 0.25$

リング　$(0.41^2\pi - 0.3^2\pi) = 0.25$

0.25　×　0.4m　=　0.1　m3

2 ｺﾝｸﾘｰﾄ殻運搬・処分

0.25　×　0.4m　=　0.1　m3

3 調整ﾓﾙﾀﾙ量

調整ﾓﾙﾀﾙ高　40cm

控除後ﾓﾙﾀﾙ高　30cm ※調整1cmは経費内として計上

（鉄蓋設置　10cm　分控除）

無収縮ﾓﾙﾀﾙ　5kg／cm換算　30 ×5 ＝150 (kg)/25kg/袋 =　6 袋

無収縮ﾓﾙﾀﾙ設置　調整ﾓﾙﾀﾙ　$(0.41^2\pi - 0.3^2\pi)$／m

$(0.41^2\pi - 0.3^2\pi) \times 0.3$　=　0.07　m3

4 鉄蓋撤去

=　10 箇所

5 鉄蓋設置

=　10 箇所

6 処分費

鉄蓋処分　92kg/組

=　10 組

汚水桝設置及び取付管工数量集計表

取付管	本管種ＶＵ150箇所数	1	箇所	塩ビ管	ゴム輪受口片受管 φ１５０＊４０００	1.7	m	÷	4	＝	0.4	本
	平均長	1.7	m		プレーンエンド直管 φ２００＊４０００	1.6	m	÷	4	＝	0.4	本
	本管種ＨＰ　箇所数		箇所	掘削	機械掘削　ﾊﾞｯｸﾎｳ	0.10	3.22					㎥
	平均長		m	埋戻	再生砂　（ﾊﾞｯｸﾎｳ）	0.10	0.58					㎥
	さや管工（φ200）		箇所		再生砕石(RC-40)	0.10	2.59					㎥
汚水桝	塩　ビ　桝	1	箇所		発　生　土		3.22					
	塩ビ桝（ドロップ）	1	箇所	残　土　量		0.10	3.22					㎥
				舗装版破砕		0.10	1.29					㎡
硬質塩化ビニール管	可とう支管 塩ビ管φ150*90		個	路　盤　掘　削		0.10	0.46					㎥
	可とう継手　φ150	1	個	捨　場		土砂	0.10	3.22				㎥
			個			AS	0.10	0.06				㎥
			個			路盤	0.10	0.46				㎥
			個	仮　復　旧		1.29						㎡
			個	仮　復　旧								㎡
				舗　装　切　断		2.36						m
												㎡
												㎡
												㎡
												㎡

汚水桝及び取付管工

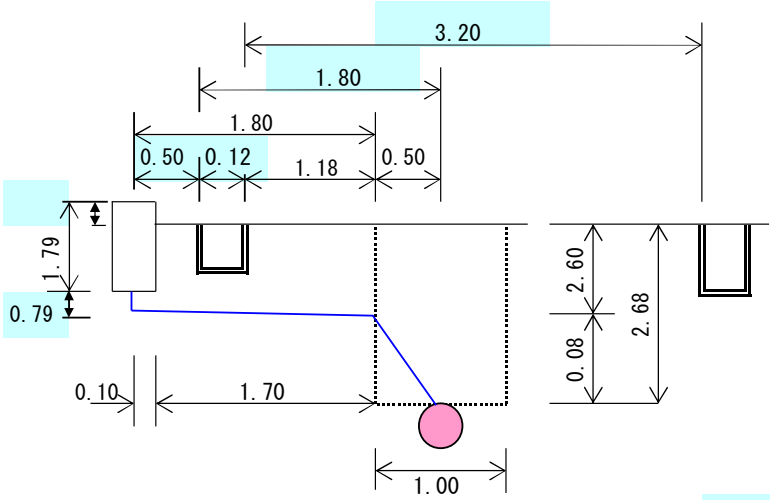
路線名	家名	掘削	埋戻				残土		取壊し		カッター	取付管長	舗装									
													アスコン				路盤工					
		機械	RC10	RC40		発生土	土砂	As塊	As盤	路盤	t=20cm以下		仮復旧t=4cm	仮復旧t=5cm			RM-40 t=10cm	RM-40 t=30cm	RM-40 t=16cm	RC-40 t=20cm	RC-40 t=25cm	RC-40 t=cm
		m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^3	m^2	m^3	m	m	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2	m^2
No. 37（右）		3.22	0.58	2.59			3.22	0.06	1.29	0.46	2.36	1.70	1.29						1.29	1.29		
小計		3.22	0.58	2.59			3.22	0.06	1.29	0.46	2.36	1.70	1.29						1.29	1.29		

汚水桝及び取付管材料計算書

路線番号	家名	形状及び深さ																					可とう支管		可とう継手		さや管	片受け直管		立上り直管		備考
		塩ビ桝											ドロップ										φ150		φ150							
		0.80	0.90	1.00	1.10	1.20	1.30	1.40	1.50	1.60	1.70	1.79	0.20	0.30	0.40	0.50	0.60	0.70	0.79	0.90	1.00	2.10	ﾋｭｰﾑ管	塩ビ管	HP/人孔	塩ビ管	Φ200	φ150	φ200	φ150	φ200	
No. 37（右）												1							1						1			1.7			1.59	人孔付
小計												1							1						1			1.7			1.6	
		1											1																			
		2																							1			1.7			1.6	

路線名	No. 37（右）	4 号	塩ビ桝	深さ	1.79 m	申請者	

ドロップ人孔付



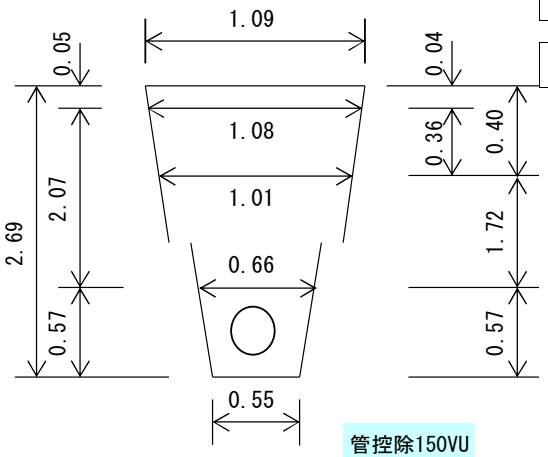
取付管長

L ＝ 1.7 m

VU	200
HP	

Ａｓ版厚	0.05
上層路盤厚	0.15
下層路盤厚	0.20

仮舗装厚	0.04

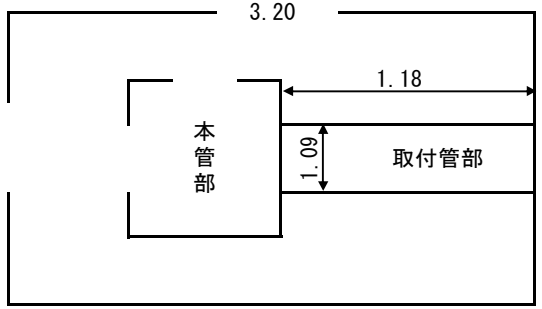


管控除150VU

0.02

機械掘削 （本管部）			
BH0.1m3 （取付部）	（1.01 ＋ 0.55 ）／2 ＊ 2.29 ＊ 1.80	＝ 3.22	3.22 m3
再生砂 （本管部）			
埋戻し （取付部）	（（0.66 ＋ 0.55 ）／2 ＊ 0.57 － 0.02 ）＊ 1.80	＝ 0.58	0.58 m3
再生砕石埋戻 （本管部）			
(RC-40) （取付部）	（1.01 ＋ 0.66 ）／2 ＊ 1.72 ＊ 1.80	＝ 2.59	2.59 m3
残土処分			3.22 m3
舗装版破砕・積込み	1.09 ＊ 1.18		1.29 ㎡
路盤掘削 仮復旧部	1.29 ＊ 0.01	＝ 0.01	
BH0.1m3 本・取付管	1.29 ＊ 0.35	＝ 0.45	0.46 m3
Ａｓ塊処分	1.29 ＊ 0.05		0.06 m3
舗装版切断	1.18 ＊ 2		2.36 m
先行復旧面積 （本管部）			
（取付部）	1.09 ＊ 1.18	＝ 1.29	1.29 ㎡
表層面積	＊ 3.20		

本復旧幅 W＝ m



舗装工集計表-仮復旧

当初

名　　称	詳　　細	本管布設時	取付管布設時				小　計	合　計
舗装版切断工	t=15cm As t=5cm	100.00 m	2.36 m				102.36	102.30 m
切断濁水処理	t=5cm	100.00 m	2.36 m				102.36	102.30 m
切断濁水処理	t=15cm	m	m					m
舗装版取壊	t=15cm以下 As t=5cm	38.25 m²	1.29 m²				39.54	39.50 m²
路盤掘削工		13.39 m³	0.46 m³				13.85	13.90 m³
ASガラ運搬工・処理		1.92 m³	0.06 m³				1.98	2.00 m³
路盤ガラ運搬工・処理		13.39 m³	0.46 m³				13.85	13.90 m³
仮復旧下層路盤工	RC-40 t= 20 cm	38.25 m²	1.29 m²				39.54	39.50 m²
仮復旧上層路盤工	RM-40 t= 16 cm	38.25 m²	1.29 m²				39.54	39.50 m²
仮復旧表層工	再生密粒度As t= 4 cm	38.25 m²	1.29 m²				39.54	39.50 m²

海　老　名　市

舗装工集計表-本復旧

当初

名　　称	詳　　細	影響範囲	仮復旧部				小　計	合　計
舗装版切断工	t=15cm未満 As t=5cm	13.00 m	m				13.00	13.0 m
切断濁水処理	t=5cm	13.00 m	m				13.00	13.0 m
切断濁水処理	t=15cm	m	m					m
舗装版取壊	t=15cm以下 As	90.96 m^2	39.50 m^2				130.46	130.5 m^2
ASガラ運搬工・処理	t=15cm以下 As	4.55 m^3	1.58 m^3				6.13	6.1 m^3
路盤掘削工		m^3	0.40 m^3				0.40	0.40 m^3
路盤ガラ運搬工・処理		m^3	0.40 m^3				0.40	0.40 m^3
表層工	再生密粒度As　ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ t= 5 cm	90.96 m^2	39.50				130.46	130.5 m^2
表層工	再生密粒度As　ﾀｯｸｺｰﾄ t= 5 cm	m^2						m^2
上層路盤工	RM-40 t= 15 cm	90.96 m^2	39.50				130.46	130.5 m^2
下層路盤	RC-40 t= 20 cm	90.96 m^2	39.50				130.46	130.5 m^2

海　老　名　市

AS･路盤ｶﾞﾗ計算書

本管布設時

当初

路線番号	舗装種別	延長 m	掘削幅 m	既設舗装厚 cm	取壊し・仮復旧面積 m^2	舗装版運搬		カッター工 m
						As m^3	路盤 m^3	
37	4号復旧	15.50	1.00	As t= 5 路盤 t= 35	15.50	0.78	5.43	31.00
37	4号復旧	11.00	1.00	As t= 5 路盤 t= 35	11.00	0.55	3.85	22.00
上水道	4号復旧	23.50	0.50	As t= 5 路盤 t= 35	11.75	0.59	4.11	47.00
合計		50.00			38.25	1.92	13.39	100.00

海老名市

面　積　計　算　書

本管布設時

当初

路線番号	舗装種別	延長 m	掘削幅 m	仮復旧厚 砕石厚	復旧厚 cm	復旧面積 m²	ロッキングブロック) m²	3号復旧 m²	4号復旧 m²	5号復旧 m²	6号復旧-1 m²	6号復旧 m²
37	4号復旧	15.50	1.00	As t= 4 路盤 t= 36	t= 4 cm	15.50			15.50			
37	4号復旧	11.00	1.00	As t= 4 路盤 t= 36	t= 4 cm	11.00			11.00			
上水道	4号復旧	23.50	0.50	As t= 4 路盤 t= 36	t= 4 cm	11.75			11.75			
合　計		50.00							38.25			

海　老　名　市

面 積 計 算 書(表層)

測　　点	単距離	幅員	平均幅員	面積(4号)		舗装版切断		摘　要
	m	m	m	㎡		縦断m	横断m	
舗装復旧平面図　4号復旧				90.96			13.00	CAD計測
舗装復旧平面図　仮復旧				39.54				上水・下水
合計	0.00			130.50	0.00	0.00	13.00	

上 水 数 量 計 算 書

名 称	形状寸法	数 量	単 位		適 用
掘削工		13.00	m3		
発生土処分工		13.00	m3		
給水取出工		1.00	箇所		100×50
給水管布設工		23.50	m		SUSφ50
スリースバルブ設置		2.00	箇所		φ50 筐設置含む
メーター廻り配管		1.00	箇所		φ40
明示シート敷設		23.50	m		幅40cm
埋戻工		13.00	m3		RC-10・40RM-40
交通誘導員		9.00	人		3人×3日
材料		1.00	式		
絶縁型サドル付分水栓		1.00	個		φ100×50
分岐用波状管		1.00	本		φ50
SUS直管		4.00	本		φ50
中間用波状管		2.00	本		φ50

上 水 数 量 計 算 書

名 称	形状寸法	数 量	単 位		適 用
ソケット		10.00	個		φ50
スリースバルブ		2.00	個		φ50 埋設用
GPシモク		4.00	個		φ50
絶縁型袋ナット付短管		4.00	個		φ50
ネジ筐		1.00	個		道路用
宅内筐		1.00	個		バルブ用
メーター用波状管		2.00	本		φ40
メーターバルブ		1.00	個		φ40
メーターボックス		1.00	個		φ40
GPシモク		1.00	個		φ40
絶縁型袋ナット付短管		1.00	個		φ40
ソケット		2.00	個		φ40
ソケット		1.00	個		φ40 コア
その他雑材		1.00	式		